

平成29年度第1回 旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会

- 日時 平成29年10月12日（木）
午前10時00分から1時間30分程度
- 場所 東員町役場 西庁舎2階 201会議室

次 第

1 開会

2 委嘱状交付

3 委員等自己紹介

4 座長あいさつ

5 説明及び審議事項

(1) 平成28年度事業取組経過報告について 事前送付資料1 資料2

(2) 第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンの修正について 資料3

(3) 今後の検討課題について 資料4

6 意見交換会

7 閉会



旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン

平成28年度 事業取組経過報告書

いなべ市・東員町

平成29年10月

第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン取組

1. 定住自立圏構想の目的

市町が連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保し、地域における定住の受け皿を形成する。その結果として、地方から三大都市圏への人口の流出をくい止めるとともに地方への人の流れを創出する。

2. 期間 平成27年度から平成31年度（5か年）

3. 連携・協力の概要

政策分野	取組事業	総事業費（千円）
①生活機能の強化	39	5,869,032
②結びつきやネットワークの強化	24	4,638,245
③圏域マネジメント能力の強化	5	202,344
合計	68	10,709,621

4. 住民基本台帳の人口推移

第1次 第2次

単位：人

	2010年 平成22年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年
いなべ市	46,662	46,263	46,162	46,074	45,874	45,721
東員町	25,850	25,763	25,763	25,575	25,563	25,648
合計	72,512	72,026	71,925	71,649	71,437	71,369

出典：住民基本台帳（※基準日：いなべ市4月1日、東員町3月31日）

5. 国勢調査の人口

単位：人

	2000年 平成12年	2005年 平成17年	2010年 平成22年	2015年 平成27年
いなべ市	45,630	46,446	45,684	45,815
東員町	26,305	25,897	25,661	25,344
合計	71,935	72,343	71,345	71,159

出典：総務省統計局（国勢調査）

6. 将来推計人口

単位：人

	2010年 平成22年	2015年 平成27年	2020年 平成32年	2025年 平成37年	2030年 平成42年	2035年 平成47年
圏域	71,345	71,159	67,973	65,764	63,219	60,374

出典：総務省統計局（平成22年度・27年度国勢調査）

平成32年度以降国立社会保障・人口問題研究所推計

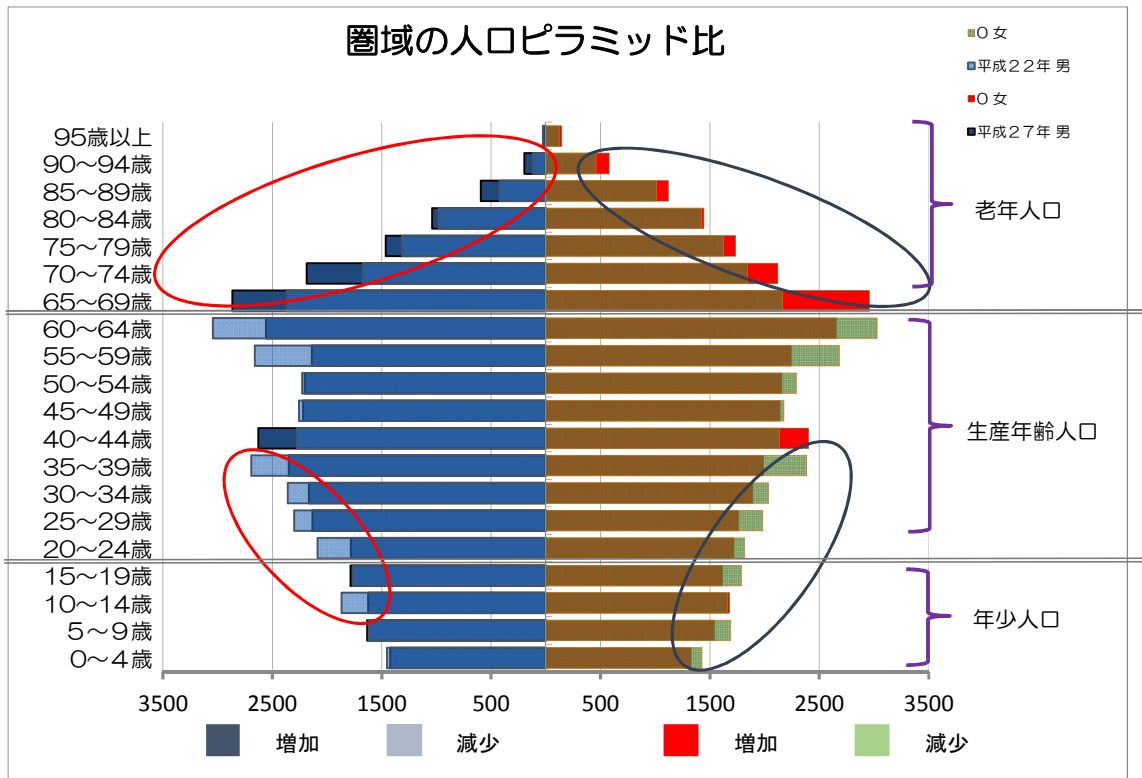
7. 人口ビジョンによる推計人口（平成32年）

いなべ市：45,301人 東員町：24,454人 合計：69,755人

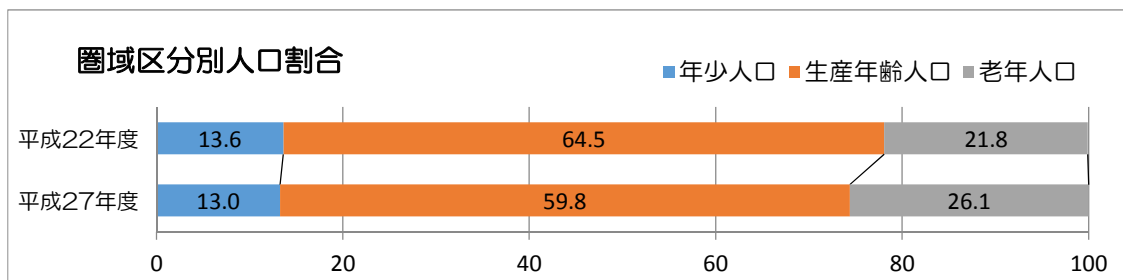
出典：いなべ市人口ビジョン・東員町人口ビジョン

8. 第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンにおける将来人口目標（平成31年度末時点）

いなべ市：46,200人 東員町：25,800人 合計：72,000人



出典：総務省統計局（平成22年度・27年度国勢調査）



圏域	年少人口 (0~14歳)		生産年齢人口 (15~64歳)		老年人口 (65歳~)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成22年度	4,939	4,779	23,662	22,327	6,907	8,644
平成27年度	4,683	4,547	21,975	20,587	8,376	10,166
	-256	-232	-1,687	-1,740	1,469	1,522

出典：総務省統計局（平成22年度・27年度国勢調査）

旧員弁郡定住自立圏の人口は、平成22年から平成25年まで72,000人台で推移してきましたが、平成26年には72,000人台を割り込みました。平成22年と27年の人口構成を比較すると、高齢化は大きく進み、少子化も徐々に進行しています。人口減少と少子高齢化はさらに拡大すると予想されます。

今後は団塊の世代が後期高齢者となる平成37年（2025年）を見据え、高齢化の進行に対応した高齢者福祉の充実が重要となります。また、少子化対策として安心して子どもを生育てられる環境づくりが重要となります。

9. 目標達成率の算出方法と達成率の判定基準について

1 目標達成率の算出方法

目標達成率は、単年度ごとの目標値の場合には、各年度の実績値を各年度の目標値で割って算出しています。また、目標項目が減少を目指すものである場合には、分子・分母を逆とし、目標値を実績値で割って算出しています。

$$\text{目標達成率} = \text{H28年度実績値} / \text{H28年度目標値} \times 100$$

(例) H28年度の目標値が130、実績値が120の場合
= $120 / 130 \times 100 = 92\%$

※小数点第2位以下四捨五入。

2 目標達成率の判定基準

①施策ごとの達成状況を分かりやすく示すため、取り組み実績をもとに、達成度をA～Dで判定しています。

②A～Dの判定は、次の表1の考え方を目安としています。

【表1】

目標達成度	判定基準	判定
100%以上	進んだ	A
85%以上100%未満	ある程度進んだ	B
70%以上85%未満	あまり進まなかった	C
70%未満	進まなかった	D

10. 取組経過報告書の見方について

分野	① 生活機能の強化に係る政策分野								
項目	② 医療								
施策名	③ 中核病院であるいなべ総合病院の機能確保								
成果指標	指標名	いなべ総合病院の医師数（研修医含む）						④ 達成率（%）	判定
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値				
	人	H27 36	H28 40	30	H29 42	H30 43	H31 45	75	C
⑤ 関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	1. いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業						38,051	9,866	⑥
	2. 産科医確保支援事業						696		
	3. 医療従事者緊急確保事業						4,504		
	4. 医師養成奨学金事業						2,880		
5. いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業						300			
							合計	56,297	
⑦ 事業実績・事業評価	事業名	1. いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業							
		いなべ総合病院24時間救急医療体制（搬送・外来・入院）							
	実績		救急搬送	外来	入院				
		いなべ市	635	58,381	3,292				
		東員町	191	10,635	856				
		合計	826	69,016	4,148				
	評価	いなべ総合病院24時間体制を確保し、休日夜間における急患診療体制を維持することができました。							
	事業名	2. 産科医確保支援事業							
	実績	出産取扱医療機関が産科医等の処遇改善策として手当を支給しています。							
		いなべ総合病院で出産された120件分の費用の一部を助成しました。							
	評価	圏域において出産取扱医療機関の体制が継続できました。							
	事業名	3. 医療従事者緊急確保事業							
	実績	圏域の中核病院が民間診療所と連携、役割分担し、中核機能を果たすために必要である医療従事者の確保にあたり、院内託児所の運営（16:00～1:00 利用者15名）、研修医宿泊施設の確保に対する助成を行いました。							
		医療従事者が働きやすい環境を整えたことで研修医2名の確保ができました。							
	評価								
事業名	4. 医師養成奨学金事業								
実績	対象の学生（2名）から奨学金貸付申請があり、面接の結果、適当と判断し修学資金の貸し付けを行いました。								
	研修医として医師確保ができました。								
評価									
事業名	5. いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業								
実績	いなべ総合病院を会場に医療講座（秋、春2回）を開催し、あわせて113人の参加がありました。								
	10月30日	61名							
	3月25日	52名							
評価	医療関係者のみならず、市民に分かりやすい内容で取り組むことによりたくさんの方に受講していただくことができました。								

①分野：定住自立圏推進要綱に定める「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメントの強化」のいずれかの政策分野を示しています。

②項目：「医療」「福祉」「教育」「土地利用」「産業振興」「防災」「地域公共交通」「道路等の交通インフラ」「地域内外の住民との交流・移住促進」「人材育成」の各項目を示しています。

③施策名：連携する施策名を示しています。

④判定：当該施策の目標達成度に基づいた判定を示しています。

⑤関連事業：施策を構成する事業を示しています。

⑥実績額：各事業に投じた事業費をいなべ市・東員町ごとに示しています。

⑦事業実績・事業評価：各事業の実績と評価を示しています。

11. 連携する施策に対する成果指標及び目標達成率について

項目	連携する施策	事業数	具体的取組に関する成果指標 (KPI)
医療	中核病院であるいなべ総合病院の機能確保	5	いなべ総合病院の医師数（研修医含む）
	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保	1	いなべ総合病院の診療科数
	二次救急（病院群輪番制）体制の確保	1	在宅医当番制による日曜祝日及び年末年始の診療日数
	適正受診等の啓発	2	妊婦検診受診等啓発事業「命の授業」を受講した中学2年生の生徒数
	防災対策の計画的な推進	2	防災ヘリの活用件数
福祉	地域包括ケアシステムの構築の推進	1	民生委員から地域包括支援センターへの相談件数
	介護サービスの推進	2	介護認定件数
	障がい者福祉サービスの推進	5	障がい福祉サービス等利用者数（各年延べ）
	障がい者福祉サービスの充実	1	子どもの発達にかかわる相談件数（各年延べ）
	子育て支援センターの充実	1	子育て支援センターの利用者数
教育	不登校などの課題に対する適切な対応	1	ふれあい教室通級児童生徒の学校への復帰率
	地域による学校支援の充実	1	各校に登録する学援隊員数（累計）
	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	1	全国学力調査で「地域・社会貢献」を考える中学3年生の割合
	外部専門機関との連携による学校負担の軽減	2	子どもの発達にかかわる相談件数（各年延べ）
土地利用	指定区域内における住宅開発の周知・相談	1	建築開発申請件数

単位	基準値	目標値				達成率	判定
		実績値					
	H27	H28	H29	H30	H31	%	
人	36	40	42	43	45	75	C
		30					
科	22	22	22	23	23	100	A
		22					
日	72	72	72	72	72	98.6	B
		71					
人	655	650	650	650	650	73.1	C
		475					
件	5	5	5	5	5	100	A
		5					
件	415	439	454	469	484	55.6	D
		244					
件	3,294	3,100	3,100	3,100	3,100	101.3	A
		3,141					
人	5,143	5,440	5,440	5,440	5,440	98	B
		5,333					
件	390	410	420	430	440	123.4	A
		506					
人	48,352	48,600	48,700	48,800	48,900	101	A
		49,102					
%	56	60	60	60	60	59.5	D
		35.7					
人	1,594	1,600	1,700	1,800	1,900	101.9	A
		1,630					
%	36	40	43	46	50	-	B
		-					
件	390	410	420	430	440	123.4	A
		506					
件	131	160	160	160	160	220.6	A
		353					

項目	連携する施策	事業数	具体的取組に関する成果指標 (KPI)
産業振興	農業生産活動の推進	1	農地利用集積率
	喜び農業の推進	1	喜び農業推進事業面積（延べ）
	観光によるまちづくりの推進	5	観光入り込み客数
	企業誘致の促進	1	企業立地件数（各年）
防災	消防組織強化による消防力の向上	3	消防団員数（累計）
	地域防災力の充実・強化	1	自主防災組織設置自治会数（累計）
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持・強化	4	三岐鉄道北勢線利用者数
道路等の交通インフラの整備	幹線道路、生活道路の整備	12	整備道路総距離数
	東海環状自動車道整備促進に向けた連携	1	圏域の高速道路設置延長距離
地域内外の住民との交流・移住促進	空き家等の活用の推進	1	空き家バンク登録物件の契約成立件数（累計）
	交流・移住の促進	5	ホームページ閲覧件数
	公共施設相互利用の促進	1	施設利用者数
人材育成	行政職員の資質の向上	1	職員研修会参加者数
	教職員の資質・指導力の向上	2	教職員研修会参加者数
	市民活動団体の資質の向上	1	登録団体数
	圏域内の企業・住民などの人材育成の推進	1	研修会等参加者数

単位	基準値	目標値				達成率	判定
		実績値					
	H27	H28	H29	H30	H31	%	
%	75	80	85	85	85	91.3	B
		73					
㎡	1,000	1,000	2,000	2,000	2,000	100	A
		1,000					
人	558,330	585,200	589,200	589,300	589,700	98.8	B
		578,025					
件	2	1	1	2	2	400	A
		4					
人	417	425	425	425	425	99.5	B
		423					
自治体	86	88	89	89	90	97.7	B
		86					
人	2,544,374	2,459,000	2,469,000	2,479,000	2,479,000	104.6	A
		2,572,752					
km	819.247	819.214	820.214	824.215	831.215	101.5	A
		831.215					
km	0	1.7	0	8.9	2.8	164.7	A
		2.8					
件	41	46	52	58	64	76.1	C
		35					
件	640,247	654,000	700,000	712,000	734,000	783.8	A
		5,125,973					
人	519,605	531,000	533,000	535,000	537,000	93.5	B
		496,484					
人	17	38	38	38	38	110.5	A
		42					
人	1,393	1,500	1,500	1,500	1,500	84.9	B
		1,274					
団体	182	184	188	193	200	102.2	A
		188					
人	1,050	1,200	1,400	1,600	1,750	100.8	A
		1210					

12. 連携施策を構成する事業の実績及び評価について

分野	生活機能の強化に係る政策分野									
項目	医療									
施策名	中核病院であるいなべ総合病院の機能確保									
成果指標	指標名	いなべ総合病院の医師数（研修医含む）								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
人	36	40	30	42	43	45	75	C		
関連事業	事業名							H28年度実績額（千円）		
								いなべ市	東員町	
	1. いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業							38,051	9,866	
	2. 産科医確保支援事業							696		
	3. 医療従事者緊急確保事業							4,504		
	4. 医師養成奨学金事業							2,880		
	5. いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業							300		
								合計	56,297	
事業実績・事業評価	事業名	1. いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業								
	実績	いなべ総合病院24時間救急医療体制（搬送・外来・入院）								
			救急搬送	外来	入院					
		いなべ市	635	58,381	3,292					
		東員町	191	10,635	856					
		合計	826	69,016	4,148					
	評価	いなべ総合病院24時間体制を確保し、休日夜間における急患診療体制を維持することができました。								
	事業名	2. 産科医確保支援事業								
	実績	出産取扱医療機関が産科医等の処遇改善策として手当を支給しています。 いなべ総合病院で出産された120件分の費用の一部を助成しました。								
	評価	圏域において出産取扱医療機関の体制が継続できました。								
	事業名	3. 医療従事者緊急確保事業								
	実績	圏域の中核病院が民間診療所と連携、役割分担し、中核機能を果たすために必要である医療従事者の確保にあたり、院内託児所の運営（16:00～1:00 利用者15名）、研修医宿泊施設の確保に対する助成を行いました。								
	評価	医療従事者が働きやすい環境を整えたことで研修医2名の確保ができました。								
	事業名	4. 医師養成奨学金事業								
	実績	対象の学生（2名）から奨学金貸付申請があり、面接の結果、適当と判断し修学資金の貸し付けを行いました。								
評価	研修医として医師確保ができました。									
事業名	5. いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業									
実績	いなべ総合病院を会場に医療講座（秋、春2回）を開催し、あわせて113人の参加がありました。									
	10月30日	61名								
	3月25日	52名								
評価	医療関係者のみならず、市民に分かりやすい内容で取り組むことによりたくさんの方に受講していただくことができました。									

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	医療								
施策名	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保								
成果指標	指標名	いなべ総合病院の診療科数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
科	22	22	22	23	23	23	100	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
	6. 一次救急医療体制確保事業						いなべ市	東員町	
							合計	3,198	
事業実績・事業評価	事業名	6. 一次救急医療体制確保事業							
	実績	休日診療実績 当番日数 71日 利用者数 449名							
	評価	圏域の中核病院と連携の下、民間診療所が交替して行う休日診療体制を維持することができました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	医療								
施策名	二次救急（病院群輪番制）体制の確保								
成果指標	指標名	在宅医当番制による日曜祝日及び年末年始の診療日数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
日	72	72	71	72	72	72	98.6	B	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
	7. 二次救急医療体制確保事業						いなべ市	東員町	
							合計	2,085	
事業実績・事業評価	事業名	7. 二次救急医療体制確保事業							
	実績	二次救急診療実績 当番日数 88日 利用者数 1,195名（入院：181名、外来：1,014名）							
	評価	いなべ総合病院に対する支援を実施することで、病院群輪番制運営事業体制を維持することができました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	医療								
施策名	適正受診等の啓発								
成果指標	指標名	妊婦検診受診等啓発事業「命の授業」を受講した中学2年生の生徒数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	655	650	475	650	650	650	73.1	C	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	8. 適正受診等啓発事業						0	0	
	9. 妊婦健診受診等啓発事業						75	188	
						合計	263		
事業実績・事業評価	事業名	8. 適正受診等啓発事業							
	実績	いなべ市では、市の広報誌やホームページに啓発記事を掲載し、保健師が訪問時にも啓発、情報提供をしています。							
	評価	適正受診の啓発を実施したことによって中核病院の時間外受診患者数の減少を図ることができました。							
	事業名	9. 妊婦健診受診等啓発事業							
	実績	妊婦健康診査については、妊娠が発覚した時点で保健師が対象者と関わり、その必要性を話しています。 また、命の大切さを啓発する取り組みとして、中学2年生を対象にした命の授業（性教育）を産婦人科医師を講師に開催しました。 いなべ市 343名 東員町 241名							
	評価	適正受診の啓発を実施したことによって中核病院の時間外受診患者数の減少を図ることができました。 妊婦健康診査の受診の大切さを周知、啓発したことにより、多くの対象者に受診していただきました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	医療								
施策名	防災対策の計画的な推進								
成果指標	指標名	防災ヘリの活用件数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	5	5	5	5	5	5	100	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	10. 広域防災事業						3,196	960	
	11. 防災施設管理事業						36		
						合計	4,192		
事業実績・事業評価	事業名	10. 広域防災事業							
	実績	山岳救助活動の出動回数 5回 事故等の救助の出動回数 0回							
	評価	防災ヘリコプターの活用により、負傷者や急病人を安全かつ迅速に救助することができました。							
	事業名	11. 防災施設管理事業							
	実績	医療搬送のための着陸 4回							
	評価	ヘリポートの整備により、いなべ総合病院へヘリコプタを活用した緊急搬送ができたので、救命救急体勢がより一層充実しました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	福祉								
施策名	地域包括ケアシステムの構築の推進								
成果指標	指標名	民生委員から地域包括支援センターへの相談件数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	415	439	244	454	469	484	55.6	D	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	12. 在宅医療・介護連携推進事業						844	314	
							合計	1,158	
事業実績・事業評価	事業名	12. 在宅医療・介護連携推進事業							
	実績	<p>多職種の連携推進を図るため、顔の見える関係づくりを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> いなべ在宅医療多職種連携推進協議会 2回 いなべ在宅医療・介護連携研究会 4回 379人 いなべ在宅医療多職種連携研修会 1回 90人 在宅医療市民講演会 1回 222人 							
	評価	<p>多職種連携を図るため、研究会4回・研修会1回を開催し「顔の見える関係づくり、仕事の見える関係づくり」を行いました。住民の方には在宅医療・看取りについて考えるきっかけづくりとして講演会、医療・介護フェアを開催し、多数の方に参加いただきました。</p>							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	福祉								
施策名	介護サービスの推進								
成果指標	指標名	介護認定件数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	3494	3100	3141	3100	3100	3100	98.7	B	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	13. 員弁地区介護認定審査会共同設置事業						10,398	4,641	
	14. 家族介護支援事業						137	92	
							合計	15,268	
事業実績・事業評価	事業名	13. 員弁地区介護認定審査会共同設置事業							
	実績	<p>員弁地区介護認定審査会開催回数：95回 要介護認定件数 3,141件（いなべ市：2,199件、東員町：942件）</p>							
	評価	<p>5合議体25名の認定審査会委員体制で員弁地区介護認定審査会を共同で開催し、公正かつ適切な審査を実施することができました。</p>							
	事業名	14. 家族介護支援事業							
	実績	<p>在宅で高齢者を介護している家族介護者を支援するために、いなべ市では、家族介護者同士の情報交換や心身のリフレッシュをカフェ方式で4回開催し139名の参加がありました。</p>							
	評価	<p>家族介護者等を支援するために、介護者相互の交流会を、カフェ方式で行い情報交換や心身のリフレッシュを行っていただきました。</p> <p>東員町では、適切な介護知識や技術を習得する「家族介護教室」を2回開催し、延べ13人の参加がありました。また、介護者同士の情報交換や相互の交流を図る「リフレッシュ事業」も4回開催し、延べ28人の参加がありました。昨年に引き続き、大台町の介護者とも交流を図りました。</p>							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	福祉								
施策名	障がい者福祉サービスの推進								
成果指標	指標名	障がい福祉サービス等利用者数（各年延べ）							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	5,143	5,440	5,333	5,440	5,440	5,440	98	B	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	15. 障害者介護給付費等支給審査会共同設置事業						3,044	601	
	16. 障害者通所施設重度障害者加算事業						960	1,680	
	17. 障害者通所施設医療的ケア支援事業						2,015	217	
	18. 手話通訳者等派遣事業						2,207	1,188	
	19. 手話奉仕員養成事業						1,204	674	
							合計	13,790	
事業実績・事業評価	事業名	15. 障害者介護給付費等支給審査会共同設置事業							
	実績	員弁地区障害者介護給付費等支給審査会 審査判定件数 132件（いなべ市：94件、東員町：38件）							
	評価	審査会をいなべ市と東員町で共同設置し、委員10名を選任して1合議体5名の2合議体体制とし、毎月1回1合議体で開催し、公平かつ適正な審査を実施することができました。							
	事業名	16. 障害者通所施設重度障害者加算事業							
	実績	障害者通所施設重度障害者加算 事務所数 4件（いなべ市：2件、東員町：2件） 交付者数 17人（いなべ市：10人、東員町：7人）							
	評価	重度障がい者の社会参加の促進及び福祉の向上のため、対象施設に対して適正な支援を行うことにより障害福祉サービスを行う施設の円滑な運営を図ることができました。							
	事業名	17. 障害者通所施設医療的ケア支援事業							
	実績	医療的ケア支援事業利用者数 事務所数 2件（いなべ市：1事業所、東員町：1事業所） 利用者数 6人（いなべ市：4人、東員町：2人）							
	評価	看護師の費用を補助することで、保護者の付き添い介護の負担を軽減することができました。							
	事業名	18. 手話通訳者等派遣事業							
	実績	手話通訳者派遣件数 276件（いなべ市：124件、東員町：144件、その他8件） 要約筆記奉仕員派遣件数 14件（いなべ市：13件、東員町：0件、その他：1件）							
	評価	手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣することにより、聴覚障がい者とのコミュニケーションを円滑に行うことができました。							
	事業名	19. 手話奉仕員養成事業							
	実績	手話奉仕員養成講座 入門18講座 27.5時間、復習3時間、講義4.5時間 基礎22講座 33時間、復習7.5時間、講義4.5時間 いなべ市：14人、東員町：8人							
評価	手話奉仕員を養成することにより、派遣業務の安定した運営が図られるとともに、手話によるコミュニケーションの必要性・重要性を広く周知しました。								

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	福祉								
施策名	障がい者福祉サービスの充実								
成果指標	指標名	子どもの発達にかかわる相談件数（各年延べ）							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	390	410	506	420	430	440	123.4	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	20. 障がい児子育て支援事業						3,220		
							合計	3,220	
事業実績・事業評価	事業名	20. 障がい児子育て支援事業							
	実績	障がいのある児童の保護者を対象に地域での子育て支援実施 ・保護者サークル情報交換会：47回開催 延べ189人 ・言語聴覚士、心理カウンセラーなどの専門職相談会：59回開催 延べ228人 ・講演会 3回開催 延べ114人							
	評価	障がいのある児童の保護者の交流や活動、学習を通じて、保護者の悩みや不安を解消し、育児ストレスを軽減することができました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	福祉								
施策名	子育て支援センターの充実								
成果指標	指標名	子育て支援センターの利用者数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	48,352	48,600	49,102	48,700	48,800	48,900	101	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	21. 子育て支援センター職員合同研修事業						0	0	
							合計	0	
事業実績・事業評価	事業名	21. 子育て支援センター職員合同研修事業							
	実績	12月にいなべ市と東員町の子育て支援センター職員の交流会を実施した。 双方の市町の子育て支援センターの業務内容等の意見交換により、相互に利用希望者を支援する体制づくりのための情報共有を行った。 東員町、いなべ市子育て支援センター交流会 1回 参加者：17名							
	評価	双方の運営上の課題等が浮き彫りになり、これからの運営にとって有意義な交流会となりました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	教育								
施策名	不登校などの課題に対する適切な対応								
成果指標	指標名	ふれあい教室通級児童生徒の学校への復帰率							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
%	56	60	35.7	60	60	60	59.5	D	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	22. 不登校児童・生徒対策事業						4,585	735	
							合計	5,320	
事業実績・事業評価	事業名	22. 不登校児童・生徒対策事業							
	実績	教育支援センター相談件数等 ・電話相談：378件（いなべ市：311件、東員町：53件、その他：12件） ・面接相談（訪問）：1,106件（いなべ市：725件、東員町：380件、その他：1件） ・学校訪問：87回（いなべ市：59回、東員町：28回） ふれあい教室 5名復帰／14名通級							
	評価	事業や運営が単調にならないよう、情報交換を行い問題や課題に職員全員が対応できました。東員町の機構改革のためによる事業の考え方などを情報交換ができました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	教育								
施策名	地域による学校支援の充実								
成果指標	指標名	各校に登録する学援隊員数（累計）							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	1,594	1,600	1,630	1,700	1,800	1,900	101.9	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	23. 学援隊事業						439		
							合計		439
事業実績・事業評価	事業名	23. 学援隊事業							
	実績	平成28年度、登録者数は1,630人。 学校が必要とする支援を中心に、登下校の見守り、花壇の手入れ、校内外の清掃、簡単な施設修繕、ゲストティーチャー、読み聞かせや英会話などの支援をいただきました。							
	評価	学校のニーズと地域の力を調整し、保護者や地域の方々による体験活動や農園活動など、豊かな学習活動の展開と拡大が見られました。 地域の方々が児童生徒と関わることにより、学校と地域の相互理解や信頼関係の構築が進みました。 教職員が担いきれない業務や専門外の業務について支援いただくことで、教職員が教育活動に専念する時間や、子どもとふれあう時間の確保につながりました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	教育								
施策名	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進								
成果指標	指標名	全国学力調査で「地域・社会貢献」を考える中学3年生の割合							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
%	36	40	-	43	46	50	-	-	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	24. 未来いなべ科事業						8,638		
							合計		8,638
事業実績・事業評価	事業名	24. 未来いなべ科事業							
	実績	地域の人、自然、歴史、文化、産業、福祉、環境等いなべ市の教育資源を教材にして、子どもたちが主体的に体験活動や問題解決学習を行う総合学習を進めている。また、総合学習をベースにした「未来いなべ科のカリキュラム」を学校ごとに作成しました。							
	評価	「未来いなべ科」カリキュラムに基づく授業が展開され、地域とのかかわりをもつ学習が推進されました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	教育								
施策名	外部専門機関との連携による学校負担の軽減								
成果指標	指標名	子どもの発達にかかわる相談件数（各年延べ）							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	390	410	506	420	430	440	123.4	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	25. 教育相談・巡回相談事業						3,180	1,640	
	26. 教育支援委員会事業						128	72	
							合計	5,020	
事業実績・事業評価	事業名	25. 教育相談・巡回相談事業							
	実績	【いなべ市】 巡回相談：26日（小学校21日、中学校5日） 発達相談・発達検査：86件 研修会等開催：13日（小学校2日、中学校11日） 【東員町】 巡回相談：23日（相談者 幼保26名、小学校59名、中学校19名） 教育相談日数：19日（相談者 幼保 0名、小学校71名、中学校15名） 研修会等開催 4日							
	評価	学習や集団行動等に困難を抱える児童生徒への支援の在り方や校内支援体制の構築等について、特別支援教育士・臨床心理士等専門家がアドバイスを行うとともに、保護者支援を行うことができました。							
	事業名	26. 教育支援委員会事業							
	実績	教育支援委員会開催回数 3回 教育支援委員会委員数 19名 教育支援委員会で判定した件数 いなべ市：48件、東員町：22件							
評価	いなべ市・東員町とも発達支援課・室が充実しているため、保育園・幼稚園・学校と連携をとりながら適切な就学判定、保護者支援が行われました。								

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	土地利用								
施策名	指定区域内における住宅開発の周知・相談								
成果指標	指標名	建築開発申請件数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	131	160	353	160	160	160	220.6	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）		
							いなべ市	東員町	
	27. 都市計画推進事務						49	140	
							合計	189	
事業実績・事業評価	事業名	27. 都市計画推進事務							
	実績	都市計画法許可件数 ・一戸建て住宅の新築許可 いなべ市：14件、東員町：7件 ・宅地分譲の許可 いなべ市：14件（3・8・18・5区画）、東員町：9件（97区画）							
	評価	都市計画法の許可により土地利用計画にあった土地利用が図れました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	産業振興								
施策名	農業生産活動の推進								
成果指標	指標名	農地利用集積率							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
%	75	80	73	85	85	85	91.3	B	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	28. 経営体等育成支援事業						15,230		0
						合計		15,230	
事業実績・事業評価	事業名	28. 経営体等育成支援事業							
	実績	各集落において「集落協定書」又は「人・農地プラン」を策定して、耕作者及び農地所有者の役割分担を定め、効率的で安定的な農業生産活動ができる取組に対して支援しました。							
	評価	持続性のある効率的で安定的な農業生産活動が実施できました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野								
項目	産業振興								
施策名	喜び農業の推進								
成果指標	指標名	喜び農業推進事業面積(延べ)							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
m ²	1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	2,000	100	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	29. 喜び農業推進事業								415
						合計		415	
事業実績・事業評価	事業名	29. 喜び農業推進事業							
	実績	<p>実証圃場として、ビニールハウスでのぶどう栽培と、液肥栽培システムでのブルーベリーポット栽培を平成26年度から継続して実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう : 5品種 各 2本 計10本 ・ブルーベリー : 5品種 各 10本 計50本 <p>平成29年1月15日、16日の大雪によりビニールハウスが倒壊したことから、ぶどう栽培の実証を継続するため、施設復旧工事にかかる経費を平成29年3月補正で計上しましたが、年度内完了が困難なため、平成29年度へ繰り越しました。</p>							
	評価	実証圃場において、ぶどう栽培及びブルーベリー栽培の生育管理を行いました。							

分野	生活機能の強化に係る政策分野									
項目	産業振興									
施策名	観光によるまちづくりの推進									
成果指標	指標名	観光入り込み客数								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
人	558,330	585,200	878,025	589,200	589,300	589,700	150	A		
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)			
							いなべ市	東員町		
	30. 地産地消推進事業						10,000			
	31. 中心市街地活性化事業						9,543			
	32. 観光客受入施設管理事業						4,323		36,810	
	33. 観光資源開発発信事業						3,122			
	34. 文化財保護事業						1,007		951	
						合計		65,756		
事業実績・事業評価	事業名	30. 地産地消推進事業								
	実績	平成28年11月13日(日)実施の第7回いなべ市新そば祭りは、来客10,000人と前年度を上回る来客数があった。また、蕎麦出展店舗は7クラブで、約5,000食を提供できた。								
	評価	ラジオ等の宣伝媒体を使ったことにより、東海3県の集客効果が見込めた。								
	事業名	31. 中心市街地活性化事業								
	実績	いなべ市唯一の商店街を形成する中心市街地阿下喜を元気ある街並みにするため、阿下喜の中心に位置する桐林館を活用し、地域おこし協力隊による「桐林館を活用した阿下喜地区中心市街地活性化」を計画。桐林館を改修した。								
	評価	地域おこし協力隊の委任決定及び桐林館の改修を完了して次年度以降の運営につなげました。								
	事業名	32. 観光客受入施設管理事業								
	実績	【いなべ市】下記の観光施設等の管理事業を委託又は補助により実施しました。 藤原岳登山口休憩所管理、藤原山荘運営及び登山道整備、鈴鹿国定公園登山道整備 宇賀溪観光美化推進、宇賀溪公衆便所管理、聖宝寺公衆便所管理、生活環境保全林維持管理 【東員町】 景観形成作物栽培事業(コスモス畑) 中部公園維持管理事業 委託先:(一社)東員町観光協会、シルバー人材センター 等 作業内容:管理等管理、管理(巡回管理)、便所清掃管理 等								
	評価	観光施設の管理事業を委託、補助し各施設の維持管理を行い観光誘客につながりました。 【東員町】 秋の風物詩としてコスモスを作付けすることにより、町内はもとより町外からも多くの人が訪れるようになり、町のイメージアップ効果は高まっています。								
	事業名	33. 観光資源開発発信事業								
実績	・モンバルクラブ・フレンドエリア情報発信:会員情報誌を通じていなべの情報を発信。 ・北伊勢広域観光推進協議会:共同イベント事業等の開催及びホームページによる情報発信。 ・西美濃・北伊勢観光サミット:三重県4市町、岐阜県11市町及び両県等で組織する協議会による共同イベント事業等の開催 ・三重の観光営業拠点運営協議会:観光誘客事業として着地型商品の販売計画を実施。 ・美し国三重市町対抗駅伝対抗駅伝出店負担金:県内29市町の対抗駅伝における出店費用。 ・JAF(一社)日本自動車連盟情報発信:JAF加入の会員にいなべ市の魅力を発信。									
評価	メディア、雑誌等を活用して、いなべ市の観光及び特産品等の情報発信しました。									

分野	生活機能の強化に係る政策分野									
項目	産業振興									
施策名	観光によるまちづくりの推進									
成果指標	指標名	観光入り込み客数								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
人	558,330	585,200	878,025	589,200	589,300	589,700	150	A		
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)			
							いなべ市	東員町		
	30. 地産地消推進事業						8,379			
	31. 中心市街地活性化事業						9,543			
	32. 観光客受入施設管理事業						4,323		36,810	
	33. 観光資源開発発信事業						3,122			
	34. 文化財保護事業						1,007		951	
							合計		64,135	
事業実績・事業評価	事業名	34. 文化財保護事業								
	実績	文化財保護事業費補助金交付件数 【いなべ市】有形民俗文化財保存伝承事業「坂本曳山車」ほか6件、史跡管理保存事業「片樋マンボ」2件、天然記念物管理保存事業「ネコギギ」1件、計9件 【東員町】県指定無形民俗文化財「猪名部神社上げ馬神事」、町指定無形民俗文化財「六杷野獅子舞」計2件								
	評価	指定文化財等の保存及び活用に必要な財政的支援を行いました。								

分野	生活機能の強化に係る政策分野									
項目	産業振興									
施策名	企業誘致の促進									
成果指標	指標名	企業立地件数(各年)								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
件	2	1	4	1	2	2	400	A		
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)			
							いなべ市	東員町		
	35. 企業誘致推進事務						385			
							合計		385	
事業実績・事業評価	事業名	35. 企業誘致推進事務								
	実績	【いなべ市】 員弁土地開発公社と連携し企業訪問や既存企業の拡張サポートを行い、平古工業団地及び藤原工業団地への企業誘致が完了しました。【新規誘致2件、既存企業拡張1件】								
	評価	市や公社が所有する土地を企業用地として有効に利用することができました。								

分野	生活機能の強化に係る政策分野									
項目	防災									
施策名	消防組織強化による消防力の向上									
成果指標	指標名	消防団員数（累計）								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率（%）	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
人	417	425	423	425	425	425	99.5	B		
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）			
							いなべ市	東員町		
	36. 常備消防事業						565,208	296,066		
	37. 消防団事業						56,482	11,462		
	38. 消防団研修訓練事業						24,328	2,934		
							合計	956,480		
事業実績・事業評価	事業名	36. 常備消防事業								
	実績	【いなべ市】 火災出動：9件、救急搬送：1,441件 【東員町】 火災出動：1件、救急搬送：1,063件								
	評価	消防署の設置により、火災の緊急通報から迅速な消火活動を行うことができ、火災被害を最小限に抑えることができました。また、救急の緊急通報から迅速かつ的確に対応した救急活動を行い、医療機関に救急搬送を行うことができました。								
	事業名	37. 消防団事業								
	実績	消防団協力事業所：25社								
	評価	消防団協力事業所制度を推進するために、従業員の消防団活動への便宜や入団促進の協力を得る企業訪問を行いました。 消防団活動への協力が企業の社会貢献につながることへの認識を深めていただくとともに、消防団活動への一層の理解と協力を得ることができました。 また、自治会へ消防団活動及び消防団員募集の協力依頼を行い、団員確保の協力体制ができました。								
	事業名	38. 消防団研修訓練事業								
	実績	【いなべ市】 自治会と消防団の連携による防災及び初期消火訓練を実施。 初期消火訓練：4件 事業所への周知、協力活動を実施。 広報掲載：1回、事業所への協力活動：1回 【東員町】 通常訓練：毎月2回 夏季訓練：1回								
	評価	地域住民と消防団が連携して初期消火の訓練を実施することで、初期消火の技術向上につながるのと同時に、地域住民に消防団活動に対する理解を深めることができました。								

分野	生活機能の強化に係る政策分野									
項目	防災									
施策名	地域防災力の充実・強化									
成果指標	指標名	自主防災組織設置自治会数（累計）								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率（%）	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
自治体	86	88	86	89	89	90	97.7	B		
関連事業	事業名						H28年度実績額（千円）			
							いなべ市	東員町		
	39. 自主防災活動事業						450	2,741		
							合計	3,191		
事業実績・事業評価	事業名	39. 自主防災活動事業								
	実績	自治会防災訓練の指導及び講演：13件（いなべ市：7件、東員町：6件） 自治会への資材整備補助：9件（いなべ市：2件、東員町：7件）								
	評価	自治会防災訓練の指導及び講演並びに資材整備補助を実施することで、自主防災組織の育成及び地域防災力の向上につながりました。								

分野	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野								
項目	地域公共交通								
施策名	地域公共交通ネットワークの維持・強化								
成果指標	指標名	三岐鉄道北勢線利用者数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	2,544,374	2,459,000	2,572,752	2,469,000	2,479,000	2,490,000	104.6	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	40. 福祉バス事業						84,116		
	41. コミュニティバス事業								63,031
	42. 三岐鉄道支援事業						92,960		51,046
43. 駐輪場・駐車場管理事業						1,808		19	
							合計		229,930
事業実績・事業評価	事業名	40. 福祉バス事業							
	実績	北勢(4路線)、員弁(2路線)、藤原(3路線)の3ルートシルバー人材センターに運行委託し、大安ルート(3路線)については三岐鉄道株式会社と運行委託しました。 ・年間利用者数 100,599人							
	評価	年間約10万人の利用がありました。							
	事業名	41. コミュニティバス事業							
	実績	オレンジバスは、平成28年10月から、住民の要望と利便性向上を目的とし新しいルートとダイヤでの運行を開始しました。新しいルートとダイヤでの運行に併せ、各シニアクラブ等に向き、バス利用の説明と意見交換を行いました。							
	評価	平成28年度(4月～3月)の利用者数は、前年度に比べ、8,412人の減少となりました。利用者減少は、ルート・ダイヤの改正に伴う乗り控えと、1月の大雪によるオレンジバス運休、また朝夕便の利用減が主な要因です。							
	事業名	42. 三岐鉄道支援事業							
	実績	北勢線事業運営協議会負担金：1,826,000円 (いなべ市：1,143,000円 東員町683,000円) 北勢線事業運営維持費補助金：125,638,000円 (いなべ市：78,520,000円 東員町47,118,000円) 三岐線地域公共交通確保維持改善事業費補助金：15,000,000円 (いなべ市：12,000,000円 東員町3,000,000円) 三岐線鉄道施設安全対策事業費補助金：1,228,066円 (いなべ市：982,452円 東員町245,614円)							
	評価	昨年度の北勢線利用者数2,544,374人と比較して28,378人(1.1%)の増となりました。利用促進事業等により、運行支援後14年間で最高の利用者数となりましたが、経営状況は依然として厳しい状況が続いています。							
	事業名	43. 駐輪場・駐車場管理事業							
実績	北勢線各駅の利用台数(利用延べ台数) ・阿下喜駅：3,190台、麻生田駅：4,250台、楚原駅：3,950台、大泉駅：22,800台 東員駅：18,848台、穴太駅：9,424台								
評価	北勢線の各駅の駐輪場・駐輪場を維持管理し、利用しやすい駅とすることができました。								

分野	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野									
項目	道路等の交通インフラの整備									
施策名	幹線道路、生活道路の整備									
成果指標	指標名	整備道路総距離数								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
	km	819,247	819,214	831,215	820,214	824,215	831,215	101.5	A	
関連事業	事業名							H28年度実績額(千円)		
								いなべ市	東員町	
	44. 市道西方上笠田線自歩道設置事業							96,783		
	45. 市道大安東部線自歩道設置事業							59,260		
	46. 市道笠田新田坂東線道路改良工事事業							100,430		
	47. 市道江丸線道路改良工事							18,287		
	48. 市道丹生川久下2区119号線道路改良事業							78,112		
	49. 市道笠田新田中央線道路改良事業							43,507		
	50. 市道楚原中央線道路改良事業							28,259		
	51. 市道阿107号線道路改良事業							638,489		
	52. 笹尾幹線1号線歩道補修事業								45,179	
	53. 路面性状事業								65,368	
	54. 主要地方道四日市・員弁線整備促進事業							0		
	55. 国道421号整備促進事業									0
								合計	1,173,674	
事業実績・事業評価	事業名	44. 市道西方上笠田線自歩道設置事業								
	実績	平成28年度は市道西方上笠田線自歩道設置工事(第3工区)(施工延長L=260m)及び市道西方上笠田線自歩道設置工事(第4工区)(施工延長L=140m)を実施しました。								
	評価	平成33年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	45. 市道大安東部線自歩道設置事業								
	実績	平成28年度は市道大安東部線歩道設置工事(第2工区)(施工延長L=300m)及び市道大安東部線防護柵設置工事(施工延長L=212m)を実施し線越にて対応しました。								
	評価	平成29年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	46. 市道笠田新田坂東線道路改良工事事業								
	実績	平成28年度は市道笠田新田坂東新田線道路改良工事(第28工区)(施工延長L=35m、補強土壁工A=237㎡)、(第29工区)(施工延長L=44.3m、橋梁下部工1基)及び(第30工区)(橋梁下部工1基)を実施し、(第29・30工区)については線越にて対応しました。								
	評価	平成30年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	47. 市道江丸線道路改良工事								
	実績	平成28年度は市道江丸線道路改良工事(第1工区)(水路工L=106m、擁壁工L=31m)を実施しました。								
	評価	平成30年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	48. 市道丹生川久下2区119号線道路改良事業								
	実績	平成28年度は用地買収A=1380㎡及び物件移転補償を実施しました。								
	評価	平成32年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	49. 市道笠田新田中央線道路改良事業								
	実績	平成28年度は用地買収A=317㎡及び物件移転補償を実施しました。								
	評価	平成35年度開通に向け計画通り実施することができました。								

分野	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野									
項目	道路等の交通インフラの整備									
施策名	幹線道路、生活道路の整備									
成果指標	指標名	整備道路総距離数								
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定	
		H27	H28		H29	H30	H31			
	km	819,247	819,214	831,215	820,214	824,215	831,215	101.5	A	
関連事業	事業名							H28年度実績額(千円)		
								いなべ市	東員町	
	44. 市道西方上笠田線自歩道設置事業							96,783		
	45. 市道大安東部線自歩道設置事業							59,260		
	46. 市道笠田新田坂東線道路改良工事事業							100,430		
	47. 市道江丸線道路改良工事							18,287		
	48. 市道丹生川久下2区119号線道路改良事業							78,112		
	49. 市道笠田新田中央線道路改良事業							43,507		
	50. 市道楚原中央線道路改良事業							28,259		
	51. 市道阿107号線道路改良事業							638,489		
	52. 笹尾幹線1号線歩道補修事業								45,179	
	53. 路面性状事業								65,368	
	54. 主要地方道四日市・員弁線整備促進事業							0		
	55. 国道421号整備促進事業									0
		合計							1,173,674	
事業実績・事業評価	事業名	50. 市道楚原中央線道路改良事業								
	実績	平成28年度は市道江丸線道路改良工事(水路工L=106m、擁壁工L=31m)を実施しました。								
	評価	平成30年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	51. 市道阿107号線道路改良事業								
	実績	平成28年度は市道阿第107号線道路改良工事(第1~6工区)(橋台工2基、擁壁工4基、水路工L=34m、函渠工L=127m)を実施しました。								
	評価	平成30年度開通に向け計画通り実施することができました。								
	事業名	52. 笹尾幹線1号線歩道補修事業								
	実績	平成28年度は笹尾幹線1号線他歩道補修工事約2,071mを実施しました。								
	評価	平成31年度完了に向け計画通り取り組むことができました。								
	事業名	53. 路面性状事業								
	実績	平成28年度は長深東西線舗装補修工事約448mと鳥取352号線舗装補修工事約810mを実施しました。								
	評価	平成31年度完了に向け計画通り取り組むことができました。								
	事業名	54. 主要地方道四日市・員弁線整備促進事業								
	実績	平成28年度は主要地方道四日市・員弁線道路改良(取付道路)工事(その2)(施工延長L=387m)及び主要地方道四日市・員弁線道路改良(取付道路)舗装工事(A=3,754㎡)を実施しました。								
評価	市道大安東部線から市道西方上笠田線までを平成32年度完成に向け計画通り取り組むことができました。									
事業名	55. 国道421号整備促進事業									
実績	平成28年度は鳥取地内の墓地移転等を実施しました。									
評価	計画通り取り組むことができました。									

分野	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野								
項目	道路等の交通インフラの整備								
施策名	東海環状自動車道整備促進に向けた連携								
成果指標	指標名	圏域の高速道路設置延長距離							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
km	0.0	1.7	2.8	0.0	8.9	2.8	164.7	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	56. 東海環状自動車道整備促進事業						399	100	
						合計	499		
事業実績・事業評価	事業名	56. 東海環状自動車道整備促進事業							
	実績	同盟会活動等を通じて通過市町と連携しながら、国県等関係機関への早期開通に向けた要望活動及び提言活動を実施しました。また、東海環状自動車道沿線市町の交流を目的に開催された、MAG-CUP少年サッカー交流活動に参加しました。							
	評価	事業を取り巻く環境は年々変化する中、28年度の活動を実施できました。西廻り区間利活用について発足した新たな団体にも参画し、積極的な取組を行いました。							

分野	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野								
項目	地域内外の住民との交流・移住促進								
施策名	空き家等の活用の推進								
成果指標	指標名	空き家バンク登録物件の契約成立件数(累計)							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	41	46	35	52	58	64	76.1	C	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	57. 空き家住宅活用事業						2,286	0	
						合計	2,286		
事業実績・事業評価	事業名	57. 空き家住宅活用事業							
	実績	<p>広報誌、ホームページにて掲載を実施しました。また、三重県宅地建物取引業協会と密な連携をとり事業を進めました。</p> <p>【いなべ市】空き家バンク登録：6件、空き家バンク利用：2件</p> <p>【東員町】空き家バンク登録：0件、空き家バンク利用：3件</p>							
	評価	啓発に関しては、あまり効果がありませんでした。今後は、空き家の実態調査の結果を踏まえ、登録件数を増やす取組を行います。							

分野		結びつきやネットワークの強化に係る政策分野							
項目		地域内外の住民との交流・移住促進							
施策名		交流・移住の促進							
成果指標	指標名	ホームページ閲覧件数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
件	640,247	654,000	5,125,973	700,000	712,000	734,000	783.8	A	
関連事業	事業名							H28年度実績額(千円)	
								いなべ市	東員町
	58. グリーンツーリズム推進事業							4,901	
	59. グリーンクリエイティブいなべ推進事業							30,830	
	60. 元気づくりシステム全国発信事業							2,399	
	61. 情報誌発行事業							5,395	4,284
	62. ホームページ事業							39,327	1,840
								合計	88,976
事業実績・事業評価	事業名	58. グリーンツーリズム推進事業							
	実績	<ul style="list-style-type: none"> いなべグリーン・ツーリズム推進委員会の開催(3回) 大学と連携した地域活動 京都産業大学：学生が地域を13回訪問(延べ119名) 地区の情報を収集し、今昔資料集や地域に伝わる話を題材にした紙芝居を制作した。 四日市大学：ドローンを利用した夜間の獣害調査や、史跡の整備などを実施した。 県地区内の空き家を利用した拠点整備(1件) 地域の方を対象にした研修の実施(2回) 地域の方を講師とした体験会(6回、60名) 							
	評価	<p>小さなごちそう体験など、試験的に人を受け入れる仕組みが動き出しました。また、各地区ごとに、独自の取り組みも始まっており、ツーリズムの受け皿となる資源の発掘や、人材育成に繋がっています。</p>							
事業実績・事業評価	事業名	59. グリーンクリエイティブいなべ推進事業							
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内での交流会の実施(4回、190名参加) 起業創業等をテーマにしたイベント(5回) 移住体験ツアーの実施(1回、14名参加) PRイベントの開催 メタルクラフト展(東京)、鼎ふしぎ発見!(いなべ市)、 日本のまんなか♥いなべ山女子フェスタ(いなべ市)、 モンベルフレンドフェアinインテックス大阪(大阪) ステイケーションテストマーケティング いなべブランド冊子、GCI冊子作成 							
	評価	<p>昨年度に引き続き、市外でのPR活動を行うと同時に、徐々に交流人口の増加や、移住促進を目的とした企画も実施しました。</p>							
事業実績・事業評価	事業名	60. 元気づくりシステム全国発信事業							
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 元気づくりシステム事業のブラッシュアップ 全国自治体での元気づくりシステムの導入及び普及に向けた取組 (H28.5月開催。24団体、43名参加)、(H29.1月開催。26団体、41名参加) 日本離島センター、がんばろう日本国民協議会、ソーシャル・ファイナンス研究会、宇沢国際学館、行政経営フォーラムでのPR 厚生労働省でのPR 							
	評価	<p>6自治体が元気づくりシステムを導入し、それぞれの地域特性を活かした独自スタイルで運営しており、同システムの普及だけでなく定着化が成功しています。</p>							

分野		結びつきやネットワークの強化に係る政策分野							
項目		地域内外の住民との交流・移住促進							
施策名		交流・移住の促進							
成果指標	指標名	ホームページ閲覧件数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
	件	640,247	654,000	5,125,973	700,000	712,000	734,000	783.8	A
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	58. グリーンツーリズム推進事業						4,901		
	59. グリーンクリエイティブいなべ推進事業						30,830		
	60. 元気づくりシステム全国発信事業						2,399		
	61. 情報誌発行事業						5,395	4,284	
62. ホームページ事業						39,327	1,840		
						合計	88,976		
事業実績・事業評価	事業名	61. 情報誌発行事業							
	実績	<p>【いなべ市】</p> <p>単なるお知らせとしてではなく、市民の誇りや絆の醸成、いなべの魅力やブランド力の発信を目指し年間154,800部発行しました。(12,900部×12ヶ月)</p> <p>平成28年度三重県広報コンクールにおいて、組写真、一枚写真、映像の3部門で特選(最高位)を受賞しました。内、一枚写真、映像の2部門は全国広報コンクールで入選を果たしました。</p> <p>【東員町】</p> <p>広報紙は、毎月第1金曜日に発行し、町の施策や各種催し物の案内などを掲載しています。よりよい紙面にするため、広報企画委員会(部長級職員)を開催し、年間の特集記事等を計画しています。また毎月、広報幹事会(各課代表職員)を開催し、年間103,700部発行しました。</p>							
	評価	圏域内の行政情報やイベント情報などを行政区域を越えてそれぞれの市町の広報誌に掲載するため、調整を始めました。							
	事業名	62. ホームページ事業							
実績	<p>【いなべ市】</p> <p>平成28年度にホームページをリニューアルし、市政情報の掲載や各種手続きの掲載、発信を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総アクセス数 月平均 21万件 ・トップページアクセス数 月平均 3.9万件 <p>【東員町】</p> <p>町の行事、お知らせ等を最新の情報として提供するため、ホームページ、行政情報メール配信サービス及びデジタルサイネージによる情報発信を行いました。による情報発信を行いました。また、ソーシャルメディアを利用しての情報発信にも取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス数 月平均 2.1万件 ・メール配信サービス登録数 2,603件 								
評価	圏域内の行政情報やイベント情報などを、行政区域を越えてそれぞれの市町の広報誌に掲載することができました。								

分野	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野								
項目	地域内外の住民との交流・移住促進								
施策名	公共施設相互利用の促進								
成果指標	指標名	施設利用者数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
	人	519,605	531,000	496,484	533,000	535,000	537,000	93.5	B
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	63. 公共施設相互利用促進事業						2,500	1,296	
							合計	3,796	
事業実績・事業評価	事業名	63. 公共施設相互利用促進事業							
	実績	インターネットを利用して体育・文化施設の空き状況照会や仮予約を申請できるシステムを稼働しています。 ・総アクセス数 11.2万件、施設空き状況照会数 1.4万件、仮予約申請数 1,200件							
	評価	昨年度より申請件数は増加しましたが、依然、空き状況照会数に比べ、仮予約申請が少ない状況が続いています。平成29年度は施設予約システムの更新を行います。							

分野	圏域マネジメントの強化に係る政策分野								
項目	人材育成								
施策名	行政職員の資質の向上								
成果指標	指標名	職員研修会参加者数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	17	38	42	38	38	38	110.5	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	64. 職員資質向上事業						2,500	1,296	
							合計	3,796	
事業実績・事業評価	事業名	64. 職員資質向上事業							
	実績	多様化する住民ニーズ、地方分権や地方創生に対応し、特色あるまちづくりを行うためには、政策立案能力や法令・例規の適正な解釈や運用が求められます。そのため、圏域職員の法制執務能力の向上を図るため、法制執務初級研修(両市町15名)、法制執務初級から中級研修(両市町16名)を実施し、政策立案能力の向上を図るため、「まちづくりは人づくり！」講座(両市町32名)を実施しました。							
	評価	若手職員から中堅職員を対象に、法務の基礎知識や条例の一部改正の実務的な方法までを学習でき、法制執務能力向上を図ることができました。また、「まちづくりは人づくり！」講座では地域おこしに関する手法を学びました。							

分野	圏域マネジメントの強化に係る政策分野								
項目	人材育成								
施策名	教職員の資質・指導力の向上								
成果指標	指標名	教職員研修会参加者数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	1393	1500	1274	1500	1500	1500	84.9	B	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	65. 教育研究所事業						8,284	0	
	66. 教育研究会事業						291	122	
							合計	8,697	
事業実績・事業評価	事業名	65. 教育研究所事業							
	実績	教職員の研修講座及び講演会 ・研修講座33回、講演会1回、参加者総数 1,611人 研究事業 「協働的な学びを育むICTを活用した授業づくり」 「ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり」							
	評価	「授業力アップ講座」11回、「教師力・指導力アップ講座」9回、「スキルアップ研修講座」5回、「出前研修」8回 合計33回の研修講座と講演会を実施しました。参加者の95%が「大変満足、おおむね満足」という結果を得ることができました。 県内外の先進校に学ぶとともに、市内小学校の協力を得て、「ICTを活用した授業づくり」と「ユニバーサルデザインの授業づくり」研究を進めました。研究内容は紀要にまとめ、研修会等を通じて各校へ広めました。							
	事業名	66. 教育研究会事業							
	実績	教職員の実践交流や研究活動 ・総会：1回 ・運営委員会：15回 ・代表者会：3回 ・研修委員会：4回 ・健康研究会：13回 ・事務研究会：5回 ・学栄研究会：9回 ・特別支援教育研究会：5回 ・中学校教科別部会：4回							
	評価	教職員自らが指導力や資質向上を目指して、実践交流や交換会等の研究会を実施することができました。							

分野	圏域マネジメントの強化に係る政策分野								
項目	人材育成								
施策名	市民活動団体の資質の向上								
成果指標	指標名	登録団体数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
団体	182	184	188	188	193	200	102.2	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	67. 市民活動センター事業						2,500	1,296	
						合計	3,796		
事業実績・事業評価	事業名	67. 市民活動センター事業							
	実績	<p>いなべ市が「スマイルフェスタ(6月)」東員町で「わくわくフェスタ(12月)」を開催し、各団体の啓発活動や交流をそれぞれの会場で行うことができました。</p> <p>【いなべ市】 平成27年度からNPO法人いなべ市民クラブへ業務を委託しました。NPOの柔軟性等を活かした拠点機能の向上や団体支援などを更に充実させることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター利用回数 3,565回(1,440団体) ・センター便り4回、活センニュース8回、計12回情報誌発行 <p>【東員町】 H28.6.1に専任職員を配置し、公設公営の「とういん市民活動支援センター」を開所しました。従前より行っていた情報誌「えがお通信」を年4回発行。さらに新たな情報誌「CSC通信」を作成し、より細やかな広報活動を行い情報発信しました。</p>							
	評価	情報誌の定期発行等、各団体がより積極的に活動できる環境づくりを促進することができました。							

分野	圏域マネジメントの強化に係る政策分野								
項目	人材育成								
施策名	圏域内の企業・住民などの人材育成の推進								
成果指標	指標名	研修会等参加者数							
	単位	基準値	目標値	実績値	目標値			達成率 (%)	判定
		H27	H28		H29	H30	H31		
人	1,050	1,200	1,470	1,400	1,600	1,750	122.5	A	
関連事業	事業名						H28年度実績額(千円)		
							いなべ市	東員町	
	68. 地域人材育成事業						0	317	
						合計	317		
事業実績・事業評価	事業名	68. 地域人材育成事業							
	実績	<p>【いなべ市】 防災講演を通じリスクや災害への備えを伝えることにより、1人ひとりの取り組みが減災に繋がります。ひとりでも多くの命を救うために、自助、共助、公助それぞれの役割を考える場となりました。参加者者数：1,210名</p> <p>【東員町】 総務省地域創造アドバイザー等を招き、「若者の力とまちづくりのシンポジウム」を開催し、若者の活躍をテーマに今後のまちづくりについて住民と共に考えるきっかけの場としました。来場者数：260名</p>							
	評価	参加者の7割の方から内容について「満足」との回答が得られました。							

参考資料

事業概要・事業費一覧
計画額に対する執行状況

1 生活機能の強化に係る政策分野

分野	施策	事業名
医療	中核病院であるいなへ総合病院の機能確保	1.いなへ総合病院救急医療体制確保支援事業
		2.産科医確保支援事業
		3.医療従事者緊急確保事業
		4.医師養成奨学金事業
		5.いなへ総合病院医療従事者等研修啓発事業
	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保	6.一次救急医療体制確保事業
	二次救急（病院群輪番制）体制の確保	7.二次救急医療体制確保事業
	適正受診等の啓発	8.適正受診等啓発事業
	適正受診等の啓発	9.妊婦健診受診等啓発事業
	防災対策の計画的な推進	10.広域防災事業
	11.防災施設管理事業	
福祉	地域包括ケアシステムの構築の推進	12.在宅医療・介護連携推進事業
	介護サービスの推進	13.員弁地区介護認定審査会共同設置事業

事業概要	実施主体	計画額（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
いなべ総合病院の24時間救急医療体制の維持を支援するため財政支援を行う。	いなべ市	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	200,000	
		38,452	38,051				76,503	
	東員町	9,842	9,842	9,842	9,842	9,842	49,210	
出産取扱医療機関が、産科医等の処遇改善策として分娩手当を支給する場合に費用の一部を助成する。	いなべ市	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000	産科医確保 支援事業 補助金
		552	696				1,248	
圏域の中核病院が、民間診療所と連携、役割分担し、救急指定医療機関、病院輪番制病院運営事業参加医療機関、24時間一般診療医療機関として中核機能を果たすために必要となる医師、看護師等医療従事職員の確保にあたり必要な院内託児施設や研修医宿泊施設の運営について助成を行う。	いなべ市	12,150	12,150	12,150	12,150	12,150	60,750	特別交付税 (病診連携)
		5,285	4,504				9,789	
大学の医学を履修する課程に在学する者のうち、一定の要件を満たす者に就学資金（月額12万円）を貸与する。	いなべ市						0	
		2,880	2,880				5,760	
いなべ総合病院において、大学病院等圏域の外部人材の講師を招き医師・看護師等医療従事者に研修を行うことにより、魅力的な研修環境とすることで医療従事者を確保する。なお、研修は公開講座とすることにより医療知識の市民への啓発を行い、市民の健康増進と適正受診の推進も図る。	いなべ市	300	300	300	300	300	1,500	
		300	300				600	
圏域の中核病院との連携の下、民間診療所が交代して行う休日診療をいなべ医師会に委託する。	いなべ市	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500	特別交付税 (病診連携)
		2,054	2,057				4,111	
	東員町	1,152	1,152	1,152	1,152	1,152	5,760	
病院群輪番制病院運営事業参加医療機関の二次救急診療体制の運営に対し支援を行う。	いなべ市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
		1,338	1,341				2,679	
東員町	759	759	759	759	759	3,795		
	746	744				1,490		
軽症での総合病院志向、安易な夜間・休日の受診（いわゆる“コンビ二受診”）を抑制し適正受診を普及させるため、いなべ医師会及び関係機関と連携するなどして、適正受診、「かかりつけ医」の役割・必要性などの啓発を行う。	いなべ市	0	0	0	0	0	0	
		0	0				0	
	東員町	146	146	146	146	146	730	
東員町	0	0				0		
	100	100	100	100	100	500		
いなべ市	100	75				175		
東員町	138	138	138	138	138	690		
妊婦健康診査の受診啓発を行う。命の大切さ（妊娠管理、健診の重要性）を啓発する取り組みを行う。	いなべ市	136	188				324	
		10,700	10,700	10,700	10,700	10,700	53,500	
いなべ市	3,189	3,196				6,385		
東員町	960	960	960	960	960	4,800		
東員町	960	960				1,920		
平成26年度に整備したヘリポートの維持管理を行う。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
		453	36				489	
地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療と介護連携について検討を行う。多職種（医療・介護・福祉）の連携推進を図るため、顔の見える関係づくりから研修を行う。	いなべ市	760	760	760	760	760	3,800	地域支援事業 交付金
		677	844				1,521	
	東員町	560	560	560	560	560	2,800	
東員町	143	314				457		
	いなべ市	10,642	10,642	10,642	10,642	10,642	53,210	
いなべ市	13,014	10,398				23,412		
東員町	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000		
東員町	5,275	4,641				9,916		

分野	施策	事業名
福祉	介護サービスの推進	14.家族介護支援事業
	障がい者福祉サービスの推進	15.障害者介護給付費等支給審査会共同設置事業
		16.障害者通所施設重度障害者加算事業
	障がい者福祉サービスの推進	17.障害者通所施設医療的ケア支援事業
		18.手話通訳者等派遣事業
		19.手話奉仕員養成事業
	障がい者福祉サービスの充実	20.障がい児子育て支援事業
子育て支援センターの充実	21.子育て支援センター職員合同研修事業	
教育	不登校などの課題に対する適切な対応	22.不登校児童・生徒対策事業
	地域による学校支援の充実	23.学援隊事業
	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	24.未来いなベ科事業
	外部専門機関との連携による学校負担の軽減	25.教育相談・巡回相談事業
		26.教育支援委員会事業

事業概要	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
在宅で高齢者等を介護している家族介護者等に対して、交流会や相談会などを実施する。 在宅家族介護者の会の活動がより円滑になるよう支援する。	いなべ市	100	100	100	100	100	500	地域支援事業 交付金
		97	137				234	
	東員町	200	200	200	200	200	1,000	
		159	92				251	
障害者総合支援法第15条に規定する障害者介護給付費等の支給に関する審査会を共同で設置・運営する。	いなべ市	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	21,500	障害者地域 生活支援事業 補助金
		2,758	3,044				5,802	
	東員町	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	
		957	601				1,558	
対象施設に対して運営助成として補助金を交付する。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
		972	960				1,932	
	東員町	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
		1,640	1,680				3,320	
対象施設に通所する障がい者のうち、医療的ケアを必要とする障がい者に対して当該施設が看護師を雇用した経費の一部を補助する。	いなべ市	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	10,500	
		1,990	2,015				4,005	
	東員町	400	400	400	400	400	2,000	
		241	217				458	
聴覚に障がいのある方が、日常生活または、社会生活等におけるコミュニケーションを円滑に行えるように手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣する。	いなべ市	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000	障害者地域 生活支援事業 補助金
		1,944	2,207				4,151	
	東員町	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	
		1,239	1,188				2,427	
手話言語法（仮称）制定を求める声が高まり、日常生活等におけるコミュニケーションの円滑化のため、手話通訳者等派遣業務の必要性も高くなると予想されます。手話奉仕員を養成し、派遣業務の安定した運営を図る。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	障害者地域 生活支援事業 補助金
		977	1,204				2,181	
	東員町	700	700	700	700	700	3,500	
		560	674				1,234	
障がいのある児童（困り感のある児童を含む。）の保護者の交流（サークルなど）を通して、保護者の育児への悩みや不安を解消することで、育児ストレスの軽減を図り、障がい児の子育て支援を行う。	いなべ市	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000	
		2,904	3,220				6,124	
子育て支援センターで、子育ての相談、情報共有を行うとともに、地域ぐるみの子育てを推進するため職員の研修を行う。	いなべ市	—	0	50	50	50	150	
		—	0				0	
	東員町	—	0	0	0	0	0	
		—	0				0	
不登校傾向にある児童生徒の状況や、遅刻早退、別室登校などの状況について詳細に調査・分析を行い、学年間や小学校中学校の連携を強化することによって、不登校の未然防止や早期の学校復帰に繋げる。	いなべ市	2,264	2,264	2,264	2,264	2,264	11,320	
		1,392	4,585				5,977	
	東員町	661	564	652	639	626	3,142	
		677	735				1,412	
学校を多方面から応援するボランティアを募り、地域による学校支援を進める。	いなべ市	669	669	669	669	669	3,345	
		207	439				646	
生まれ育った故郷に誇りを持ち、いなべを大切にすることを育む地域学習を推進する。	いなべ市	9,294	9,294	9,294	9,294	9,294	46,470	
		8,364	8,638				17,002	
専門家による教育相談・巡回相談等の充実を図るとともに、外部関係機関との連携・協働により、学校支援を進める。	いなべ市	5,091	5,091	5,091	5,091	5,091	25,455	
		3,900	3,180				7,080	
	東員町	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	5,600	
		1,680	1,640				3,320	
医師、教職員など各分野の専門家で構成された組織で、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対し、一人一人のニーズに応じた適正な就学のための調査や相談、審議を行う。	いなべ市	—	128	128	128	128	512	
		—	128				128	
	東員町	—	0	0	0	0	0	
		—	72				72	

分野	施策	事業名
土地利用	指定区域内における住宅開発の周知・相談	27.都市計画推進事務
産業振興	農業生産活動の推進	28.経営体等育成支援事業
	喜び農業の推進	29.喜び農業推進事業
	観光によるまちづくりの推進	30.地産地消推進事業
		31.中心市街地活性化事業
		32.観光客受入施設管理事業
		33.観光資源開発発信事業
		34.文化財保護事業
	企業誘致の促進	35.企業誘致推進事務
防災	消防組織強化による消防力の向上	36.常備消防事業
		37.消防団事業
		38.消防団研修訓練事業
	地域防災力の充実・強化	39.自主防災活動事業
生活機能の強化に係る政策分野		計39事業

事業概要	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源	
		実績額（単位：千円）							
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計		
都市計画法第34条第11号に規定する指定区域内での開発許可についてホームページなどで情報発信を行うとともに、窓口における相談業務を迅速に行う。	いなべ市	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	11,000		
		115	49				164		
	東員町	140	140	140	140	140	700		
		70	140				210		
各集落において「集落協定書」又は「人・農地プラン」を策定して、耕作者及び農地所有者の役割分担を定め、効率的で安定的な農業生産活動ができる取組に対して支援する。	いなべ市	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	82,500		
		13,200	15,230				28,430		
	東員町	0	0	0	0	0	0		
		0	0				0		
付加価値のある農産物の栽培により、地域農業の活性化及び農業所得の向上を図る。 果樹(ぶどう、ブルーベリー)の実証ほ場を整備し、稼ごことのできる農業としての検証を行い、新たに参加いただける農業者とともに、果樹産地となるよう栽培面積を増やし、農業者の定住に繋げる。	東員町	4,496	1,086	605	605	605	7,397		
		4,185	415				4,600		
	いなべ市	20,000	8,000	8,000	8,000	8,000	52,000		特別交付税
		8,808	10,000				18,808		
歴史的街並みの活性化により交流人口増加を促進するため、専門知識、経験者及び実績を有している外部人材を活用して調査、計画コーディネート等を行う。	いなべ市	11,000	—	—	—	—	11,000		
		6,480	9,543				16,023		
魅力ある観光地づくりを推進するため、観光施設の維持管理、観光組織への支援や景観形成作物の栽培委託などを行う。	いなべ市	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	110,000		
		4,552	4,323				8,875		
	東員町	40,439	40,439	40,439	40,439	40,439	202,195		
		36,132	1,606				37,738		
三重の観光営業拠点事業による誘客のための旅行商品の開発を行う。	いなべ市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000		
		1,200	3,122				4,322		
指定文化財の適切な保護・活用に努めるとともに、民俗芸能などの無形文化財についても、保存団体を支援し、積極的にその保存・伝承に努める。	いなべ市	180	180	180	180	180	900	特別交付税	
		1,214	1,007				2,221		
	東員町	851	851	851	851	851	4,255		
		941	951				1,892		
新規企業の誘致に向けた企業訪問や、円滑な企業活動に資するため、市内インフラ整備について側面からサポートを行う。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000		
		85,000	385				85,385		
圏域住民の生命・財産を守るため、火災の消火・予防活動、救急搬送等の業務を桑名市に委託する。	いなべ市	546,500	546,500	546,500	546,500	546,500	2,732,500	宝くじ収益分配分	
		565,333	565,208				1,130,541		
	東員町	278,000	278,000	278,000	278,000	278,000	1,390,000		
		298,706	296,066				594,772		
圏域住民の生命・財産を守るため、地元企業や自治会等と連携して、地域消防団の団員を確保する。	いなべ市	58,000	61,000	58,000	58,000	58,000	293,000		
		55,794	56,482				112,276		
	東員町	11,693	11,693	11,693	11,693	11,693	58,465		
		11,407	11,462				22,869		
圏域内の桑名市消防署分署や消防学校で教育訓練などを実施し、団員の資質向上を図る。	いなべ市	23,700	23,700	23,700	23,700	23,700	118,500		
		22,264	24,328				46,592		
	東員町	2,962	2,962	2,962	2,962	2,962	14,810		
		2,906	2,934				5,840		
自主防災組織が活発に活動を行えるように防災訓練の指導や資機材整備補助等の支援を行うことにより、自主防災組織による地域防災力の充実を図る。	いなべ市	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	28,500		
		1,541	450				1,991		
	東員町	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	41,255		
		2,279	2,741				5,020		
		1,194,120	1,170,741	1,167,398	1,167,385	1,167,372	5,867,016		
		1,240,947	1,125,330	0	0	0	2,366,277		

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

分野	施策	事業名
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持・強化	40.福祉バス事業
		41.コミュニティバス事業
		42.三岐鉄道支援事業
		43.駐輪場・駐車場管理事業
道路等の交通インフラ	幹線道路、生活道路の整備	44.市道西方上笠田線自歩道設置事業
		45.市道大安東部線自歩道設置事業
		46.市道笠田新田坂東線道路改良工事業
		47.市道江丸線道路改良工事
		48.市道丹生川久下2区119号線道路改良事業
		49.市道笠田新田中央線道路改良事業
		50.市道楚原中央線道路改良事業
		51.市道阿107号線道路改良事業
		52.笹尾幹線1号線歩道補修事業
		53.路面性状事業

事業概要	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
鉄道・路線バスとの連携や、病院・商業施設への生活交通として、市内12路線で無料運行、定時定路線運行を行う。	いなべ市	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	400,000	特別交付税
		89,897	84,116				174,013	
町内に朝夕便、昼便の5路線を設定し、朝夕便は通勤、通学の利用を基本に鉄道駅へ直行する2路線で運行、昼便は病院や買い物利用を基本に東員駅を中心とした3路線で運行する。	東員町	60,475	60,475	60,475	60,475	60,475	302,375	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 特別交付税
		60,475	63,031				123,506	
三岐鉄道北勢線は営業赤字が継続しており、安定運行のため、三岐鉄道に対して支援を行う。利用促進事業等を実施している北勢線事業運営協議会へ負担金を支出する。三岐鉄道三岐線の安全運行のため、国の地域公共交通確保維持改善事業にかかる設備等整備事業に対し、補助金を交付する。	いなべ市	87,000	12,000	12,000	12,000	12,000	135,000	特別交付税
		85,660	92,960				178,620	
	東員町	50,500	3,000	3,000	3,000	3,000	62,500	
		51,172	51,046				102,218	
三岐鉄道北勢線各駅における駐輪場と駐車場の修繕等の管理を行う。 (穴太駅、東員駅、大泉駅、楚原駅、麻生田駅、阿下喜駅)	いなべ市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
		1,534	1,828				3,362	
	東員町	327	327	327	327	327	1,635	
		0	19				19	
位置：員弁町西方・北金井地内 (大泉公民館前交差点～県立いなべ総合学園高等学校) 延長：1,700m 幅員：7.0m (歩道3.5m)	いなべ市	80,000	99,000	—	—	—	179,000	防災・安全 交付金
		92,636	96,783				189,419	
位置：大安町大井田・高柳地内 (門前桑名線交差点～イオン大安店) 延長：2,900m 幅員7.0m (歩道2.5m)	いなべ市	100,000	74,000	—	—	—	174,000	防災・安全 交付金
		49,332	59,260				108,592	
位置：員弁町市乃原・笠田新田地内 (トヨタ車体㈱～東海環状自動車道大安IC) 延長：1,850m 幅員：10m (車道6.0m、歩道2.5m、路肩0.75m)	いなべ市	40,000	105,000	150,000	65,000	—	360,000	社会資本整備 総合交付金
		16,400	100,430				116,830	
位置：大安町大井田・門前地内 (大安駅～笠間保育園) 延長：820m 幅員：6.0m (車道：5.0m、路肩：0.5m)	いなべ市	20,000	35,100	14,900	—	—	70,000	防災・安全 交付金
		6,093	18,287				24,380	
位置：北勢町新町地内 (国道365号から青川峡CPへのアクセス道路) 延長：1,300m 幅員：10m (車道6.0m、歩道2.5m、路肩0.75m)	いなべ市	65,000	70,000	100,000	48,000	48,000	331,000	社会資本整備 総合交付金
			78,112				78,112	
位置：員弁町笠田新田・下笠田・御園 地内 (国道421号～員弁地区防災拠点【旧員弁高校】) 延長：140m 幅員：7.0m (車道5.5m、路肩0.75m)	いなべ市	10,000	24,000	20,000	73,000	73,000	200,000	社会資本整備 総合交付金
			43,507				43,507	
位置：員弁町楚原・北金井・石仏地内 (県道四日市員弁線～員弁地区防災拠点【旧員弁高校】) 延長：500mのうち110m 幅員：10.0m (車道：6.0m、歩道2.5m、路肩：0.5m)	いなべ市	—	30,000	—	—	—	30,000	
			28,259				28,259	
位置：北勢町阿下喜地内 (新庁舎～主要地方道北勢多度線・県道南濃北勢線) 延長：600m 幅員：12.5m (車道：6.0m、歩道：2.5m【両側】、路肩：0.75m)	いなべ市	50,300	577,100	677,600	—	—	1,305,000	
			638,489				638,489	
位置：東員町笹尾地内 (国道421号～国道421号) 延長：2,400m 幅員：歩道2.0m	東員町	40,000	37,200	—	—	—	77,200	社会資本整備 総合交付金
		35,830	45,179				81,009	
町道1・2級路線の舗装の状態を把握し、今後の舗装補修を計画的に実施する。	東員町	73,000	73,000	73,000	73,000	73,000	365,000	社会資本整備 総合交付金
		28,874	65,368				94,242	

分野	施策	事業名
道路等の交通インフラ	幹線道路、生活道路の整備	54.主要地方道四日市・員弁線整備促進事業
		55.国道421号整備促進事業
	地域公共交通ネットワークの維持・強化	56.東海環状自動車道整備促進事業
地域内外の住民との交流・移住促進	空き家等の活用の推進	57.空き家住宅活用事業
	交流・移住の促進	58.グリーンツーリズム推進事業
		59.グリーンクリエイティブいなべ推進事業
		60.元気づくりシステム全国発信事業
		61.情報誌発行事業
		62.ホームページ事業
公共施設相互利用の促進	63.公共施設相互利用促進事業	
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野		計24事業

事業概要	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
県道四日市・員弁線の下記の事業が早期に整備されるよう取り組む。 位置：大安町大井田地区内～員弁町大泉新田（国道365号線～国道421号線） 延長：2,000m 幅員：9.5m（歩道3.5m）橋梁1基	いなべ市	0	0	0	0	0	0	
		0	0				0	
国道421号の下記の事業が早期に整備されるよう取り組む。 位置：東員町鳥取・大木地区内 鳥取地区内 交差点改良 大木地区内 延長：2,295m 幅員：12.5m（歩道2.0m×2）	東員町	0	0	0	0	0	0	
		0	0				0	
東海環状自動車道の整備促進のため、通過市町と連携しながら、国・県関係機関に要望を行うなど早期開通に向けた取り組みを行う。	いなべ市	650	650	650	650	650	3,250	
		530	399				929	
	東員町	100	100	100	100	100	500	
		100	100				200	
売却や賃貸を希望する空き家（空き地）の所有者から申し込みを受けた情報をホームページなどで公開し、所有者と、市内で定住や交流などを目的として空き家（空き地）の購入や賃貸を希望する方を結びつける「空き家・空き地バンク」を市町双方でリンクさせることなどにより共同発信する。	いなべ市	300	300	300	300	300	1,500	
		0	2,286				2,286	
	東員町	0	0	0	100	0	100	
		0	0				0	
空き家や未利用施設などを活用し、来訪客に宿泊や農林業体験を提供する。	いなべ市	5,000	5,000	2,000	2,000	1,000	15,000	
		4,823	4,901				9,724	
全国に誇れるいなべ市の事業を冊子やホームページなどで紹介し発信する。	いなべ市	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000	
		5,976	30,830				36,806	
いなべブランドのトップランナーである「元気づくりシステム」を産学官民の協働により全国へ発信し、普及を進める。	いなべ市	3,000	—	—	—	—	3,000	特別交付税
		3,016	2,399				5,415	
圏域内の行政情報やイベント情報などを、行政区域を越えてそれぞれの市町の広報紙に掲載する。	いなべ市	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	
		6,140	5,395				11,535	
	東員町	5,406	5,406	5,406	5,406	5,406	27,030	
		4,190	4,284				8,474	
圏域内の行政情報やイベント情報などを、行政区域を越えてそれぞれの市町のホームページに掲載する。また、メール配信やSNSなどによる情報発信についても検討する。	いなべ市	15,000	1,000	1,000	1,000	1,000	19,000	
		17,408	39,327				56,735	
	東員町	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	6,875	
		1,840	2,840				4,680	
圏域内の体育・文化施設の行政区域を越えた相互の利用を行う。	いなべ市	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500	
		2,500	2,500				5,000	
	東員町	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	6,480	
		1,296	1,296				2,592	
		814,729	1,291,329	1,229,429	453,029	386,929	4,205,445	
		565,722	1,563,231	0	0	0	2,128,953	

3 圏域マネジメントの強化に係る政策分野

分野	施策	事業名
人材 育成	行政職員の資質の向上	64.職員資質向上事業
	教職員の資質・指導力の向上	65.教育研究所事業
		66.教育研究会事業
	市民活動団体の資質の向上	67.市民活動センター事業
	圏域内の企業・住民などの人材育成の推進	68.地域人材育成事業
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		計5事業

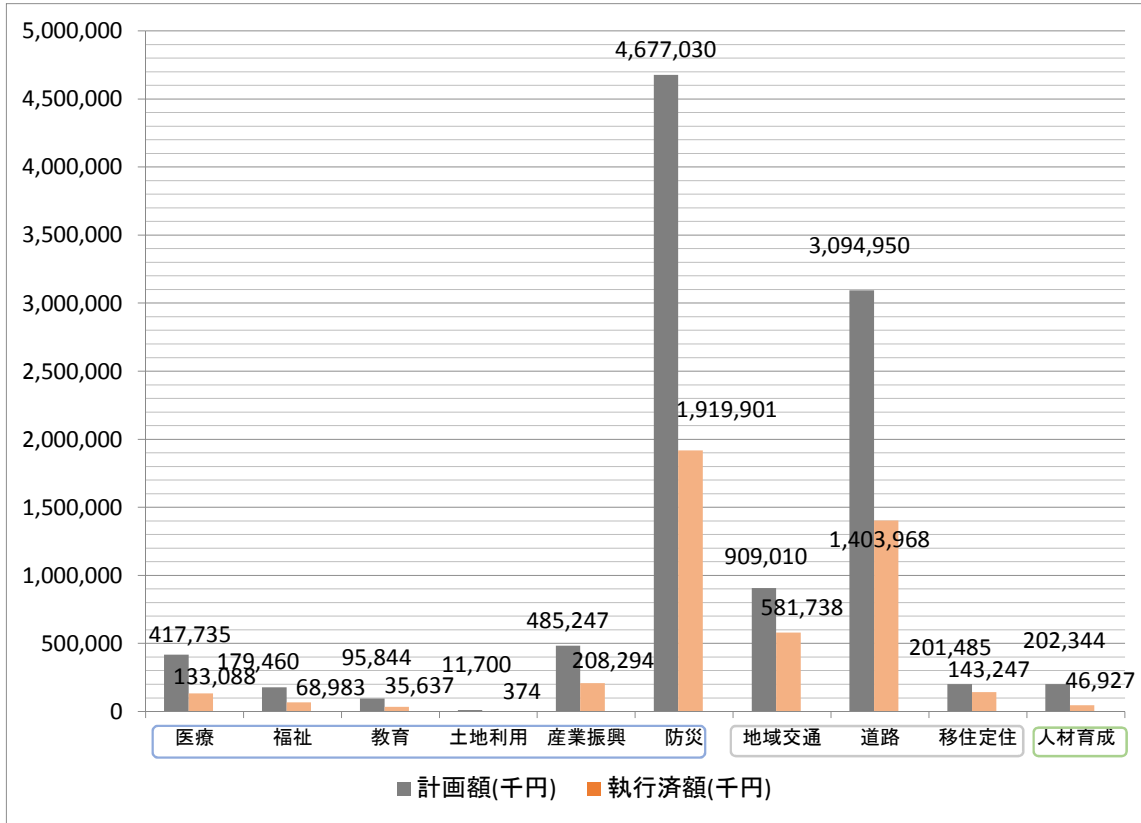
第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン 事業計画 総合計68事業

事業概要	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
職員の資質を向上させるため、いなべ市及び東員町の職員を対象に、法制執務研修や各専門分野で活躍している方から、専門分野における最新情報、業界のトレンド、マネジメント技術を学ぶ研修などを実施する。	いなべ市	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	39,500	
		0	60				60	
	東員町	2,578	2,578	2,578	2,578	2,578	12,890	
		0	0				0	
教育課題の研究、調査・統計資料作成、交流研修会、研修講座などを実施する。	いなべ市	9,519	9,519	9,519	10,653	9,519	48,729	
		7,927	8,284				16,211	
	東員町	680	680	680	680	680	3,400	
		0	0				0	
新たな教育課題に対し、教職員が主体的に情報交換・研究活動を行う郡市教育研究会活動に支援を行う。	いなべ市	463	463	463	463	463	2,315	
		291	291				582	
	東員町	102	102	102	102	102	510	
		122	122				244	
市町の市民活動拠点の機能を活用し、圏域内の市民活動団体の情報や当該団体の支援に関する情報などを共有する。ボランティアコーディネーターの育成を行い、ボランティア活動を行いやすい環境づくりをする。	いなべ市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
		10,266	11,334				21,600	
	東員町	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
		683	6,908				7,591	
圏域内の企業・住民などを対象に、各専門分野で全国的に活動している方などを講師又はアドバイザーとして招き、専門分野における課題や最新の情報、業界のトレンド、マネジメント技術などを学ぶことで、地域をけん引するノウハウを身に付ける。	いなべ市	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000	
		0	0				0	
	東員町	0	0	0	0	0	0	加速化交付金
		322	317				639	
		40,242	40,242	40,242	41,376	40,242	202,344	
		19,611	27,316	0	0	0	46,927	

	事業費（単位：千円）						
	実績額（単位：千円）						
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
	2,049,091	2,502,312	2,437,069	1,661,790	1,594,543	10,244,805	
	1,826,280	2,715,877	0	0	0	4,542,157	

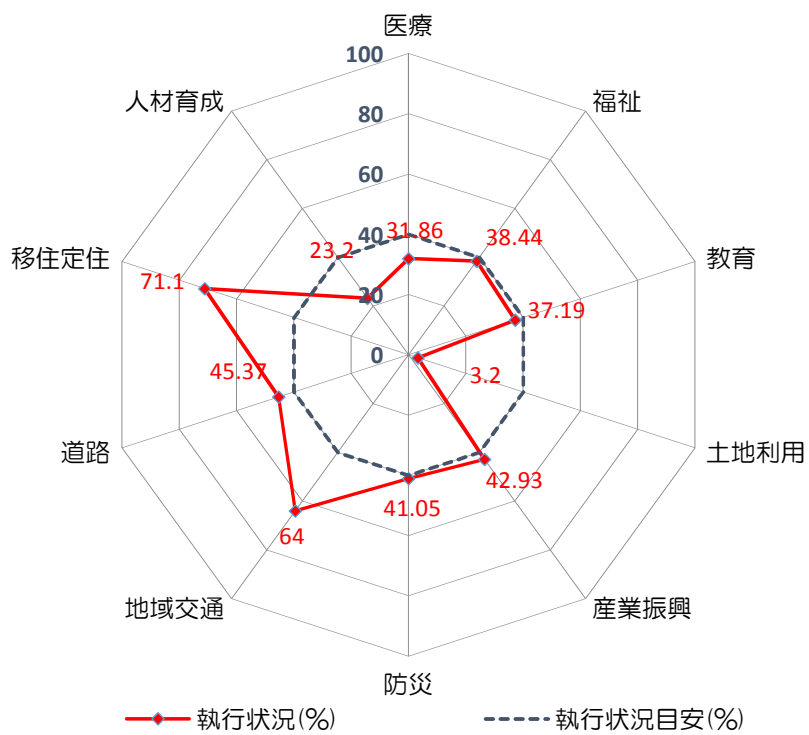
第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン計画額に対する執行状況について

旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンで掲げた計画額に対する現在の執行状況（金額による達成状況）は次のとおりです。ただし、執行状況は、平成28年度までです。



政策分野	項目	計画額(千円)	執行済額(千円)	執行状況 (%)
生活機能の強化に係る政策分野	医療	417,735	133,088	31.86
	福祉	179,460	68,983	38.44
	教育	95,844	35,637	37.19
	土地利用	11,700	374	3.2
	産業振興	485,247	208,294	42.93
	防災	4,677,030	1,919,901	41.05
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	地域交通	909,010	581,738	64
	道路	3,094,950	1,403,968	45.37
	移住定住	201,485	143,247	71.1
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	人材育成	202,344	46,927	23.2

執行状況 (%)



執行状況の目安は40%（5か年計画、2か年での率のため）

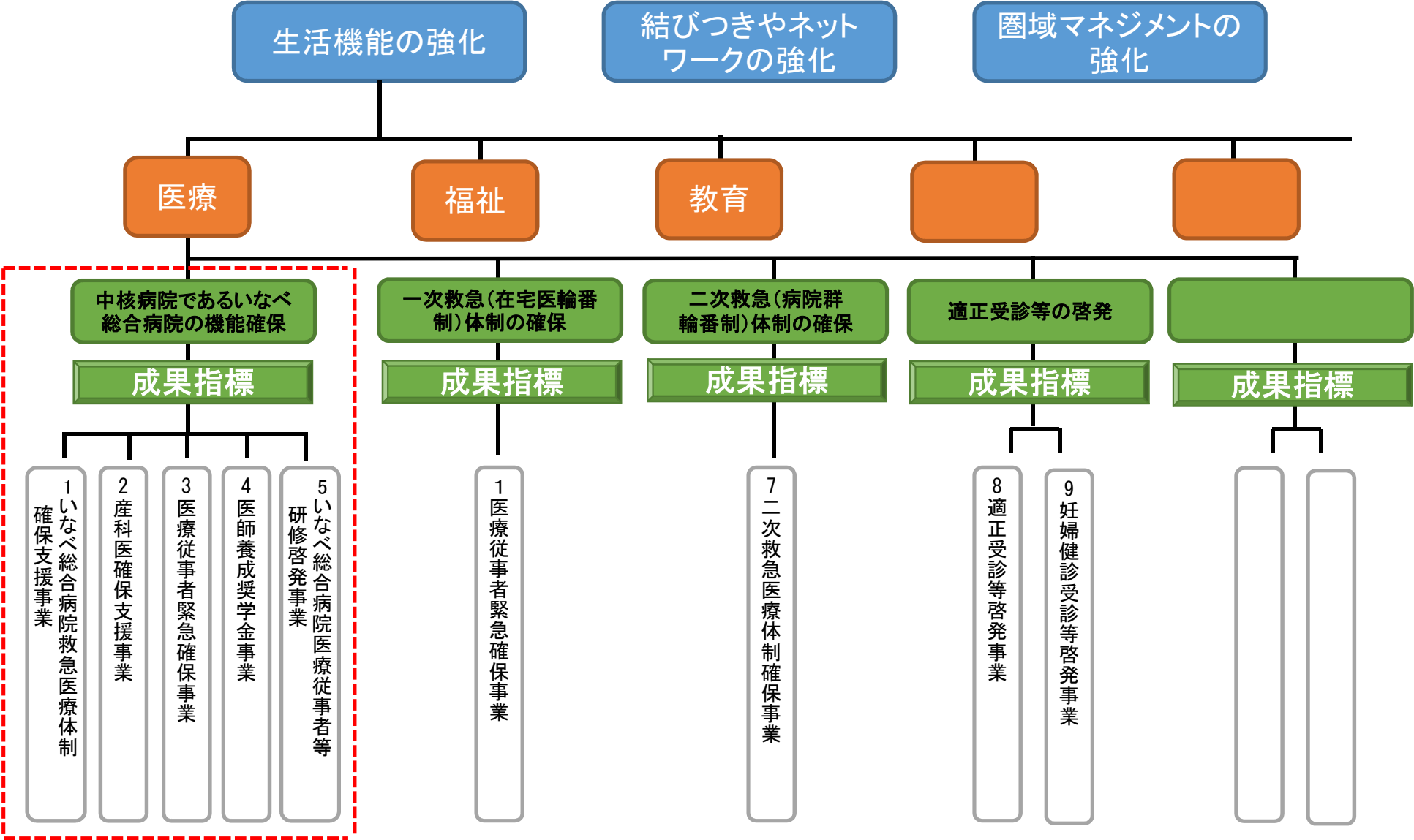
旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン 施策体系

【政策分野】
(3)

【項目】
(10)

【施策】
(35)

【事業】
(68)



1. 事業の概要修正について

P41

政策分野	1 生活機能の強化	項目	(1) 医療
連携する施策	ア 中核病院であるいなべ総合病院の機能確保		
事業No.	5	事業名	いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業
事業概要	いなべ総合病院において、大学病院等圏域の外部人材の講師を招き医師・看護師等医療従事者に研修を行うことにより、魅力的な研修環境とすることで医療従事者を確保する。なお、研修は公開講座とし、医療知識を市民へ還元することで意識の向上に加え、市民の健康増進と適正受診の推進も図る。		

P50

政策分野	1 生活機能の強化	項目	(3) 教育
連携する施策	イ 地域による学校支援の充実		
事業No.	23	事業名	学援隊事業
事業概要	各校のボランティアを「いなべ学援隊」として編成し、市内全ての小中学校で、教育活動への支援や学校環境の整備、登下校の安全確保など、学校を多方面から応援するシステムを構築することで、地域の力で学校を支える体制づくりを行う。		

P53

政策分野	1 生活機能の強化	項目	(5) 産業振興
連携する施策	イ 喜び農業の推進		
事業No.	29	事業名	喜び農業推進事業
事業概要	町単独事業として、付加価値のある作物を栽培することにより、地域農業の活性化及び農業所得の向上を図り、生産者にとって稼ぐことができる農業、喜びのある農業の構築を目指します。実証圃場での検証を行い、新たに参画していただける農業者とともに、果樹産地となるよう栽培面積を増やし、農業者の定住に繋げる。		

P54

政策分野	1 生活機能の強化	項目	(5) 産業振興
連携する施策	ウ 観光によるまちづくりの推進		
事業No.	31	事業名	中心市街地活性化事業
事業概要	歴史ある街並みの阿下喜地区の空き店舗活用や飲食店、物販店の誘致等により、中心市街地の活性化を図る。		

P54

政策分野	1 生活機能の強化	項目	(5) 産業振興
連携する施策		ウ 観光によるまちづくりの推進	
事業No.	32	事業名	観光客受入施設管理事業
事業概要		<p>魅力ある観光地づくりを推進するため、観光施設の維持管理、観光組織への支援などを行う。</p> <p>【東員町】 転作農地を有効活用し、観光資源の副次的効果を狙い、田園アメニティの向上及び町のイメージアップ、地域活性化を図る。</p>	

P68

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化	項目	(3) 地域内外の住民との交流・移住促進
連携する施策		ア 空き家等の活用の推進	
事業No.	57	事業名	空き家住宅活用事業
事業概要		<p>売却や賃貸を希望する空き家（空き地）の所有者から申し込みを受けた情報をホームページなどで公開し、所有者と、市内で定住や交流などを目的として空き家（空き地）の購入や賃借を希望する方を結びつける。</p>	

P68

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化	項目	(3) 地域内外の住民との交流・移住促進
連携する施策		イ 交流・移住の促進	
事業No.	58	事業名	グリーンツーリズム推進事業
事業概要		<p>過疎化や高齢化が著しい中山間地域において、住民を主体としたグリーン・ツーリズムに着目した取組を実施し、地域課題の解決と交流人口の拡大を図る。</p>	

P69

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化	項目	(3) 地域内外の住民との交流・移住促進
連携する施策		イ 交流・移住の促進	
事業No.	59	事業名	グリーンクリエイティブいなべ推進事業
事業概要		<p>にぎわいの森と地域の良好な関係をつくり、いなべの資源であるモノ・コト・トキを結びつけることで、新たな価値を創出する。</p> <p>農や食、自然やアウトドアといったいなべ特有の資源を活かす人材の育成と起業の促進を図る。</p> <p>都市に向けていなべの魅力を発信し、都市民とのネットワークを形成する。</p>	

3. 事業の計画額修正について

P42

政策分野	1 生活機能の強化		項目	(1) 医療			
連携する施策		工 適正受診等の啓発					
事業No.	8	事業名	適正受診等啓発事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	0	0	0	0	0	292
	東員町	146	146	0	0	0	

P51

政策分野	1 生活機能の強化		項目	(3) 教育			
連携する施策		工 外部専門機関との連携による学校負担の軽減					
事業No.	25	事業名	教育相談・巡回相談事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	5,091	5,091	5,091	5,091	5,091	32,855
	東員町	1,120	1,120	1,720	1,720	1,720	

P54

政策分野	1 生活機能の強化		項目	(5) 産業振興			
連携する施策		ウ 観光によるまちづくりの推進					
事業No.	31	事業名	中心市街地活性化事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	11,000	—	11,190	200	200	22,590
	東員町	—	—	—	—	—	

P55

政策分野	1 生活機能の強化		項目	(5) 産業振興			
連携する施策		ウ 観光によるまちづくりの推進					
事業No.	34	事業名	文化財保護事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	180	180	180	180	180	5,455
	東員町	851	851	951	951	951	

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化		項目	(1) 地域公共交通			
連携する施策		ア 地域公共交通ネットワークの維持・強化					
事業No.	40	事業名	福祉バス事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	80,000	80,000	117,035	110,000	120,000	507,035
	東員町	—	—	—	—	—	

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化		項目	(1) 地域公共交通			
連携する施策		ア 地域公共交通ネットワークの維持・強化					
事業No.	42	事業名	三岐鉄道支援事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	87,000	12,000	87,000	87,000	85,000	563,500
	東員町	50,500	3,000	51,000	51,000	50,000	

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化		項目	(2) 道路等の交通インフラの整備			
連携する施策		ア 幹線道路、生活道路の整備					
事業No.	52	事業名	笹尾幹線1号線歩道補修事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	—	—	—	—	—	292,200
	東員町	40,000	37,200	150,000	65,000	—	

政策分野	3 圏域マネジメントの強化		項目	(1) 人材育成			
連携する施策		ア 行政職員の資質の向上					
事業No.	64	事業名	職員資質向上事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	7,900	7,900	200	200	200	21,556
	東員町	2,578	2,578	0	0	0	

政策分野	3 圏域マネジメントの強化		項目	(1) 人材育成			
連携する施策		イ 教職員の資質・指導力の向上					
事業No.	65	事業名	教育研究所事業				
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	9,519	9,519	9,519	10,653	9,519	48,955
	東員町	680	680	0	0	0	

第8章

今後の検討課題

ビジョンの策定においては、旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会を通じて、圏域の課題や圏域の将来像の実現に向けての取組施策や事業に対して、多くの意見を頂戴しました。その中には、長期的な視点に立って課題を解決していかなければならない取組みもありました。

また、本ビジョンは定住自立圏形成協定のアクションプランとしての性格を持ち計画期間は5年間となっています。このことから、事業を実施するにあたり市町間の協議・調整に時間を要するもの、関連制度や財政面などの現状を鑑み実施の時期を検討すべきものなど、魅力あふれる圏域の形成に必要であっても本ビジョンに反映できない事項等を「今後の検討課題」と位置付け、懇談会又は分科会等で集中審議し、継続的に検討を進めていきます。

政策分野	項目	検討課題
生活機能の強化	福祉	【地域包括ケアシステム構築の推進】 ・自治会などとの連携による高齢者の見守り体制の確立 【介護サービスの推進】 ・住宅のバリアフリー化に対する補助金の交付 ・認知症高齢者に対する支援 【障がい者福祉サービスの推進】 ・障がい者（児）施設の新築等に対する財政支援 ・親亡き後の障がい者（児）が地域内で暮らせる仕組みづくり ・障がい者（児）施設と医療の連携 【その他圏域内の福祉サービスの充実に繋がるもの】 ・生涯にわたり健康でいられるよう、疾病の予防と早期発見、健康づくりの仕組みづくり ・圏域の子育て支援に関する事項についての検討
	教育	【地域による学校支援の充実】 ・地域で子どもを守り育てられるようなコミュニティスクール等の充実
	土地利用	【圏域の特性にあった土地利用の推進】 ・条例改正などにより小規模住宅団地開発が可能になるように努める 【規制緩和の促進】 ・国や県に対して小規模住宅団地の開発が可能になるよう連携して働きかける
	産業振興	【農業生産活動の推進】 ・農地耕作者の高齢化に伴う後継者の確保 ・農地耕作者の高齢化に伴う耕作放棄地の有効活用
	防災	【地域防災力の充実・強化】 ・消防団と福祉団体との連携による高齢者が関係する火災の防止
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	【その他圏域内の地域公共交通の充実に繋がるもの】 ・福祉バスとコミュニティバスの相互乗入の検討
	地域内外の住民との交流・移住促進	【その他圏域内外の住民との交流・移住につながるもの】 ・公共施設等の利用減少対策や老朽化対策などとして、総合的かつ計画的な管理を行うための公共施設等総合管理計画策定の際には、相互利用を踏まえて圏域全体で検討する

事業取組経過報告書（事前配布資料1） P5～P8の訂正について

11.連携する施策に対する成果指標及び目標達成率について

項目	連携する施策	事業数	具体的取組に関する成果指標 (KPI)	単位	基準値	目標値				達成率	判定
						実績値					
						H27	H28	H29	H30		
医療	中核病院であるいなべ総合病院の機能確保	5	いなべ総合病院の医師数（研修医含む）	人	36	40	42	43	45	75	C
	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保	1	いなべ総合病院の診療科数	科	22	30					
	二次救急（病院群輪番制）体制の確保	1	在宅医当番制による日曜日及び年末年始の診療日数	日	72	22	22	23	23	100	A
	適正受診等の啓発	2	妊婦検診受診等啓発事業「命の授業」を受講した中学2年生の生徒数	人	655	72	72	72	72	98.6	B
	防災対策の計画的な推進	2	防災ヘリの活用件数	件	5	71					
						650	650	650	650	89.8	B
						584					
福祉	地域包括ケアシステムの構築の推進	1	民生委員から地域包括支援センターへの相談件数	件	415	5	5	5	5	100	A
	介護サービスの推進	2	介護認定件数	件	3,294	5					
	障がい者福祉サービスの推進	5	障がい福祉サービス等利用者数（各年延べ）	人	5,143	439	454	469	484	55.6	D
	障がい者福祉サービスの充実	1	子どもの発達にかかわる相談件数（各年延べ）	件	390	244					
	子育て支援センターの充実	1	子育て支援センターの利用者数	人	48,352	3,100	3,100	3,100	3,100	101.3	A
						3,141					
教育	不登校などの課題に対する適切な対応	1	ふれあい教室通級児童生徒の学校への復帰率	%	56	5,440	5,440	5,440	5,440	98	B
	地域による学校支援の充実	1	各校に登録する学援隊員数（累計）	人	1,594	5,333					
	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	1	全国学力調査で「地域・社会貢献」を考える中学3年生の割合	%	36	410	420	430	440	123.4	A
	外部専門機関との連携による学校負担の軽減	2	子どもの発達にかかわる相談件数（各年延べ）	件	390	506					
土地利用	指定区域内における住宅開発の周知・相談	1	建築開発申請件数	件	131	48,600	48,700	48,800	48,900	101	A
						49,102					
						60	60	60	60	59.5	D
						35.7					
						1,600	1,700	1,800	1,900	101.9	A
						1,630					
						40	43	46	50	-	-
						-					
						410	420	430	440	123.4	A
						506					
						160	160	160	160	220.6	A
						353					

項目	連携する施策	事業数	具体的取組に関する成果指標 (KPI)	単位	基準値	目標値				達成率	判定
						実績値					
						H27	H28	H29	H30	H31	
産業振興	農業生産活動の推進	1	農地利用集積率	%	75	80 73	85	85	85	91.3	B
	喜び農業の推進	1	喜び農業推進事業面積（延べ）	m ²	1,000	1,000 1,000	2,000	2,000	2,000	100	A
	観光によるまちづくりの推進	5	観光入り込み客数	人	558,330	585,200 578,025	589,200	589,300	589,700	98.8	B
	企業誘致の促進	1	企業立地件数（各年）	件	2	1 4	1	2	2	400	A
防災	消防組織強化による消防力の向上	3	消防団員数（累計）	人	417	425 420	425	425	425	98.8	B
	地域防災力の充実・強化	1	自主防災組織設置自治会数（累計）	自治体	86	88 86	89	89	90	97.7	B
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持・強化	4	三岐鉄道北勢線利用者数	人	2,544,374	2,459,000 2,572,752	2,469,000	2,479,000	2,479,000	104.6	A
道路等の交通インフラの整備	幹線道路、生活道路の整備	12	整備道路総距離数	km	819,247	819,214 822,582	820,214	824,215	831,215	100.4	A
	東海環状自動車道整備促進に向けた連携	1	圏域の高速道路設置延長距離	km	0	1.7 2.8	0	8.9	2.8	164.7	A
地域内外の住民との交流・移住促進	空き家等の活用の推進	1	空き家バンク登録物件数（累計）	件	41	46 47	52	58	64	102.2	A
	交流・移住の促進	5	ホームページ閲覧件数	件	640,247	654,000 728,000	700,000	712,000	734,000	111.3	A
	公共施設相互利用の促進	1	施設利用者数	人	519,605	531,000 496,484	533,000	535,000	537,000	93.5	B
人材育成	行政職員の資質の向上	1	職員研修会参加者数	人	17	38 63	38	38	38	165.8	A
	教職員の資質・指導力の向上	2	教職員研修会参加者数	人	1,393	1,500 1,611	1,500	1,500	1,500	107.4	A
	市民活動団体の資質の向上	1	登録団体数	団体	182	184 188	188	193	200	102.2	A
	圏域内の企業・住民などの人材育成の推進	1	研修会等参加者数	人	1,050	1,200 1,470	1,400	1,600	1,750	122.5	A

旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

会議名	第1回 旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成29年10月12日(木) 10:00~11:30
開催場所	東員町役場 西庁舎2階201会議室
出席者	<p>【委員】12名 岩崎恭典、松岡洋、岡本恒一、佐藤秀子、池田秀夫、荒木佳子、土岐昌男、佐藤忠生、伊藤良子、神谷清、小林正孝、岡山敏幸 (欠席：後田和也、石川雅一、桑原浩、三林孝夫、滝本収、中村武司)</p> <p>【事務局等】19名 いなべ市：総務部長、都市整備部長、福祉部次長、健康子ども部次長、農林商工部次長、建設部次長、教育部長、企画部長、政策課長、政策課3名 東員町：総務部長、生活部長、福祉部長、教育委員会事務局長、政策課長、政策課2名</p> <p>【オブザーバー】2名 桑名地域防災総合事務所：地域防災課課長、地域防災課1名</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 委員等自己紹介 4. 座長あいさつ 5. 説明及び審議事項 (1) 平成28年度事業取組経過報告について (2) 共生ビジョン修正について (3) 第8章今後の検討課題について 6. 意見交換会 7. 閉会
配布資料	<p>【資料1】平成28年度事業取組経過報告書(事前配布)</p> <p>【資料2】施策体系について</p> <p>【資料3】共生ビジョン修正箇所一覧</p> <p>【資料4】今後の検討課題について</p> <p>【訂正資料】事業取組経過報告書の訂正について</p>
公開、非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議 事 概 要	
<p>1. 開会</p> <p>【事務局】</p> <p>定刻となりましたので、ただいまより平成29年度旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催いたします。</p> <p>今回は、東員町さんに会場をお借りしての開催となり、朝から何かとお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>開会前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p>ではお手元の次第に基づき進めさせていただきます。</p>	

2. 委嘱状交付

【事務局】

委員の委嘱状交付についてですが、本来ならお一人ずつお渡しさせていただくべきですが、時間の都合上机の上に置かせていただきましたので、これをもって交付とさせていただきます。ご了承をよろしくお願いいたします。

3. 委員等自己紹介

【事務局】

それぞれの分野におきまして、新しく委員としてお願いさせていただきました方もございますので、皆さんの自己紹介をお願いしたいと思います。

委員の皆さまにご紹介いただき、続いていなべ市・東員町の部課長などの自己紹介をお願いいたします。

～座長より時計回りにて自己紹介～

4. 座長あいさつ

【座長】

皆さんご挨拶いただいて、どういった方々かお分かりいただいたと思います。

この定住自立圏共生ビジョンであります。東員町といなべ市と一緒に通ずる課題に取り組んでいこうということで、本質的な目的は圏域内の人口が72,000人維持であって、その人数を全国の人口が減るなかで72,000人を維持していこうと。そういったビジョンを描いて、それに基づく施策として、福祉であるとか教育であるとか、医療であるとか、今後この地域で定住自立していくために必要な施策を両市町で実施していくにあたってそれぞれ関係の深い皆さんに集まっていただいて、ビジョンをこれまでに2回作りました。そして今日はその第二次ビジョンの（平成）28年度分の事業計画について、みなさんに「こういう結果でした」ということを報告いただきます。それについてみなさんそれぞれの立場から結構でございますので、ぜひご意見いただきたい。それが会議の目的だという風に思っております。限られた時間ではありますし、難しい表現もあるかと思っております。それぞれのご自身の専門分野、あるいはそれ以外でもお気付きのことについていろいろご質問いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

この場を借りてではありますけれども、今日久しぶりに北勢線に乗ってきました。今日のビジョンの中にも掲載されていますが、北勢線を維持していくというのが重要な項目としてあがっています。私どもの大学も少し協力させていただきました。12/16にサンタ電車を。これは10年以上関わっていますが、今年もやろうと思っています。これは車社会に頼りがちな地域ではありますけれども、今後車が使えない、使ってはいけないという人がたくさん増えてくる。そういった時に地域の公共交通としての北勢線というもの。廃止することはすごく簡単に出来ちゃうであろうと思います。ただ、今廃止してしまえば絶対に復活はない。けれども、今後車を使えない人達の移動の手動として、北勢線は非常に重要になってくるだろうと思っております。ですから、そのためにも「北勢線の存続に向けて何かやらないといけない」と、学生たちと考え出したのがサンタ電車でありました。

もう今の我々世代は、車なしでは動けないし、動く気もないだろうと。だったら子どもをターゲットにして、子どもたちに「電車は楽しいね」ということを記憶してもらう。ちょっと先を見据えてといえば見据えた話ですが、そういうイベントをすでに始めて、徐々に広がってきました。まあ年に1回ですけども。今年は沿線協議会のご尽力もあって車両を1編成、サンタのラッピングをした電車を走らせてくれるということです。その車両内はクリスマスの飾りつけをし、学生たちがサンタの格好をして子どもたちをおもてなししよう。1日限りですが、させていただきますので、よろしければ乗っていただければと思います。それでは、5番目の説明及び審議事項に入っていこうと思います。

先ほども申し上げましたが、審議事項は3つございます。1つは昨年度の事業取組経過報告についてご意見をいただきたい。それから第2次共生ビジョンについて時代変化に伴って修正する必要があるとのことですので、その修正についてご意見いただきたい。最後にビジョンの中にある「今後の検討課題」について。先送りをしている課題がありますので、いなべ市と東員町の

協議の状況をお伺いしながら、この検討課題についてもみなさんのご意見をいただきたいと思います。

5-（1）. 平成 28 年度事業取組経過報告について 【事務局】

～資料 1 「旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン平成 28 年度事業取組経過報告書」により説明～

1 点は共生ビジョンの取り組みとして人口統計を中心に構成し説明いたします。2 つ目は、昨年度に施策の達成度合いを測定する成果指標を議論していただきました。この成果指標の達成状況について説明させていただきます。この 2 本立てで説明申し上げたいと思います。それでは、資料 1、2 ページをご覧ください。

連携・協力の概要ですが、3 つの政策分野で合計 68 の取り組み事業があります。事業費の合計としまして、約 107 億円となっています。

続きまして、住民基本台帳の人口推移でございます。圏域の人口ですね取組スタートは、2010 年から 2013 年までおおよそ 72000 人で推移していました。2014 年、は 72000 人を切りました。以降は、2017 年までは 71000 人代で推移しています。

次に国勢調査の人口状況です。2015 年をご覧ください。圏域合計で 71159 人でございます。こちらは、2010 年と比較し、0.2%減少です。三重県全体でみると 2.1%減少。全国平均では、0.8%の減少となっています。三重県を全国と比較すると減少を最小限に留まっている状況でございますが、その下の将来人口推計を見ますと決して安心できる状況ではありません。一番右端ですが 2035 年 60374 人という推計が出ています。2015 年と比較すると 15%減少約 10000 人減少した。人口減少は今後も拡大すると言われていますが、この定住自立圏の共生ビジョンを進めることで、以下のような人口目標を立てています。

まず、7 項目の人口ビジョンによる人口推計は両市町合わせて 69755 人といった目標がある。さらにこれを両市町で連携協議いくことでそれに上回る目標を定住自立圏の共生ビジョンで目標設定させていただきます。両市町合わせて圏域の人口ビジョンを 72000 人としています。

人口減少は、限りなく減少がとどまっているという風に説明しましたが、中身を比較すると、少子高齢化が進んでいます。真ん中の棒グラフ圏域区分別人口割合というものをご覧ください。上段が平成 22 年度で、下段が平成 27 年度。比較すると左のブルーのところの年少人口は 0.6%減少している。右端の老年人口は 4.3%増加しています。おおまかにいうと高齢化が大きく進んでいて、少子化は徐々に進んでいる背景があり、今後は団塊の世代が後期高齢者になる平成 37 年を見据え高齢化の進行に対応した高齢者福祉の充実が重要となります。また、少子化対策として安心して子どもを生み育てられる環境づくりも大切となります。このことから、定住自立圏構想をさらに推進していきたいと思っています。

続きまして、施策評価の説明に移らせていただきます。それぞれの施策に成果指標を設けてその達成率と判定を表記してあります。本日は C、D 判定のものつまり達成率 85%以下のもの、合わせて A 判定で達成率が 200%以上のものを各担当部長から説明させていただきます。

【座長】

では、32 施策の中から 5 つ C、D 判定と A 判定で 200%以上のものを説明していただきます。C、D 判定のものから担当の部長さんから説明してください。まず、いなべ総合病院からお願いします。

【いなべ市健康こども部次長】

一番上の欄にある中核病院であるいなべ総合病院の機能確保のところですが、達成率が 75%ということで C 判定。目標が 40 に対して 30 ということで、これは、なかなか全国的に医師の確保が難しく減っているという現状で、このいなべ総合病院でも言えます。現状はこういう状況ですが、いなべ市としては奨学金を出しています。

この 4 月から三重北医療センターいなべ総合病院という名前に変わりました。不足している先生を菰野厚生病院とともに、相互関係で補っていかうとしています。達成率は少ないですが、対応し進めております。

【座長】

一旦、全員の話聞いてから質問としましょう。

【いなべ市福祉部次長】

福祉の地域包括ケアシステムの構築の推進につきまして55.6%ということでD判定となっています。相談件数を計上していますので、必ずしもD判定がいけないというわけではないと思いますが、急激に27年から減った理由を説明させていただきます。平成27年4月から生活困窮者自立支援法の相談事業所を設けております。それが1年たって周知されてきた。平成28年4月にいなべ市は障害者の相談事業所は3事業所ほど増えました。それで相談する場所が地域包括支援センターだけでなく、専門分野により分散したのが1つの原因ではないかと思えます。また、民生委員さんも相談を受け、いろんなところに相談内容を持っていき、全てを包括支援センターにもっていかなかったのが原因かと思えます。

【いなべ市教育部長】

不登校などの課題に対する適切な対応のふれあい教室通級児童生徒の学校への復帰率が判定Dとなり達成率が59.5%ということですが、まず、27年度の基準値が56%ということで目標は60%で達成できていないということですが、まずは実績を少しご覧いただきたいと思えます。教育支援センターの相談件数として電話相談が378件、面接相談が1106件、直接学校への訪問が87回ということで、その職員さんは面談を通して、いろいろされているのですが、不登校になった児童は原因が複雑化しており家庭環境や友人関係、又は先生との関係等いろいろ複雑な要因が絡み合っており、なかなか学校への復帰が果たせていないということが実情でございます。28年度は14人の通級者のうち5人が復帰していますが、今現在も14名ということで、一度復帰したが戻って通級している児童もいる。根本的に解決できるか職員と考えている。まず、家庭で親に協力を得られないといところもある。子供に対して無関心であったり、中学生になると自分の判断でという無責任な発言される方も見えます。親との関係も考えていかなければならない。目標はそのまま60だが、達成率は実現できていないのが実情です。

【いなべ市都市整備部長】

土地利用の指定区域内における住宅開発の周知・相談の中で建築開発申請件数でございます。28年度は目標160に対して353で、200%となっている。基準値については131ですが、28年度は急にこういったことということです。原因は調査していませんが、消費税は上がらなかったが駆け込みの関係ではないかと思えます。この内容については開発申請や建築確認申請、都市計画による届け出と法人届も含めてのことです。市以外の民間で受付けていただいている分はこの中に含まれていません。市の方に届けていただいた件数となります。

続きまして、産業振興の企業誘致の件ですが、企業立地件数です。目標値1件に対し、4件ということで、400%となっています。普段は、あったり、なかったりだったが、28年度は景気の動向にもよりますが、4件ありました。これは喜ばしいことですが、今後はどうなるかわかりませんが、今の企業の活動の持っていく方とっております。

【座長】

よろしいでしょうか。質問はありますか。

【東員町建設部長】

先ほどの補足説明で、土地利用のところ東員町は目標値10件に対し、154件で急激な住宅開発が行われた。これにつきましては、都計法の34条の11項で市街化広域の範囲で、周辺で開発できることとなりましたので、それについて急に増えたということでたぶん東員町がほとんど原因だと思います。それと企業誘致で東員町は目標値0としましたが、1件ありました。他にも開発中のところがありますので、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

【座長】

はい、ありがとうございました。今の説明のようにC、D判定の部分と指標の達成が2倍数のところの説明を受けましたがいかがでしょうか。納得していただく説明でしたでしょうか。それかここはどうなのというところありますよね。民生委員さんから地域包括支援センターへの相

談件数のそもそもの指標の置き方がちょっとしんどかったのかなというところあると思いますが、いかがですか。

【委員】

今、説明していただいたことだろうと思っておりましたが、ただ、私思うことは、民生委員の件数だけ挙げているのはなぜだろうと、他からの地域包括支援センターへの相談はあると思うのだが、聞かせていただきたい。

【事務局】

今、他からの件数もということで、そのとおりなのですが、当初の段階ではこの指標の置き方良かったのかなと。ただ、世の中の流れも変わってきて、いろんな動きが入ってきて、地域包括支援センターだけでなくってきているので、指標の置き方も考えていくべきだと思います。

【座長】

相談の形が多様化しているとのことで指標が追い付いていないとのことで、指標は計画期間内に変えてもいいのか。あまり好ましいことではないのか。

【事務局】

それぞれの総合計画にも連動しておりますので、できる限り5年間はこの指標でと、ただいま次長から説明あったようにそういう課題として見直しのご意見賜りながら進めていきたいと思えます。

【座長】

とにかく包括ケアの仕組みを2025年までに作らないといけないわけだから、前提として相談する方も増えるし、そうするとその相談が多様なところへ相談しに行くと、様々な事業に繋がっていくということで、最初民生委員から包括支援センターにという部分に指標にしたのはまずかったかな。ただ、説明あったようにこの計画期間内にスパッと変えるわけにはいかないので、保管していく説明をしていかなければまずいなと思えますので、今ご説明したようなことで納得していただければと思えます。

他の指標についていかがでしょうか。何かみなさんご意見ありますか。

いなべ総合病院の件で、医師数の確保の話で基準値の平成27年度の36名は当時の実績ですよね。それから平成28年度の40名を目指したが逆に30名になっちゃったってことですよ。菰野厚生病院と連携して医師の確保を目指すということですが、どんな状況ですか。

【いなべ市健康こども部次長】

公立病院であればこちらからの手立てがあると言えるのですが、私立病院なので、こちらからアクションを起こすのはなかなか難しい。いなべ総合病院のお医者さんはほとんど名私大の先生でございますので、名私大の方へプッシュするとか、研修医をしていただくという過程で補助金を出すなどを行うなどしているが、今後目標になる数字は難しいのが実際のところですよ。

【座長】

確かに私立ということで、難しいですが何とか支援を。この目標を達成するために診療科目数は平成30年度から増やすということで、お医者さんの数は増えていかざるを負えない。それを充足して何らかの形の支援をしていかなければならない。他にご説明の中でよろしいでしょうか。

【委員】

今のいなべ総合病院の話で40人対して30人で数字的に言うと75%で、実際のところ10人マイナスで75%と、あまり進まなかったということで、それでいいのかなと、まったく進んでいないのでは。お医者さんが減るのはどういった要因なのでしょう。病院経営が苦しいところでお医者さんを減らさざる負えないところでしょうか。

【事務局】

従業員が少ないのではというところですが、先ほども話をしましたが、こちらからアクションを起こすのは中々難しいというところで、全国的にも医師不足ということで、後のご質問にも関わりますが、産婦人科、小児科は特に先生のなり手が少ないそうです。大学病院も生徒数を増やしたりしているのですが、なかなか医療も散らばっておりまして、確保できないというところ

【座長】

ただ、やっぱり圏域の住民さんからしたら、大きな関心がありますので、何か有効な手立てを打ち出したいと思います。

話のあった小児科、産婦人科はなり手がないと医師不足が深刻で、一つは訴訟リスクと聞きます。尾鷲に行っていましたら、尾鷲市立病院もお医者さんのなり手がないと市長さんが真剣におっしゃっていました。一番大きいのは訴訟リスクということでした。小児科もどちらかとそういう傾向があると、深刻であるのは確かですが、逆に圏域地域の住民からは必要なことだと思いますので、何とかしてほしいなと思います。いなべ総合病院の件はよかったですか。納得するわけじゃないけどやむ負えないのかなと思います。

不登校の課題に対する適切な対応というところでの通級児童生徒が増えているところはどのように。

【委員】

一応、目標値を定めてもらっていますが、説明のあったようにデリケートな問題が絡んでおります。復帰できるような生徒は今まで通り対応をしていただく必要があると思いますが、引きこもりになって、なかなか外に出られない子もいると聞いておりますので、目標値を目指してということですが、非常に丁寧に対応していただいていると聞いておりますので、学校との連携も一体となって、これまで通り丁寧な対応をしていただければと思います。

【座長】

これはこれで、目標値と実績値が絶対ではないということですね。

【委員】

あまり詳細はわかりませんが、生徒さんと家庭と学校との連携で、壁があるように思うのですが、第三者にお願いするような形はいかがでしょうか。

【いなべ市教育部長】

スクールソーシャルワーカーですとか学校カウンセラーがおります。必要に応じて校長先生などから要請を受けて、そういった方を派遣して生徒、親、先生と3者または4者で相談して学校で解決できるようにしています。その中で、親の協力が得られない、子どもが拒否をするということで不登校予備軍となり、あまりケアができないというケースはありますが、スクールソーシャルワーカーですとか学校カウンセラーを活用し、できる限りその問題は解決できるようにしています。

【座長】

先ほど説明がありましたが、親のネグレクト、育児放棄が大きい。どうでしょうか。不登校の部分についてはよろしいですか。

建築開発申請件数がすごく多くなったことと、たまたま企業の誘致が増えて企業立地件数が多くなったことは、納得のいく話だったかなと思うのですが、何かご質問はありますか。

全国的に見ても東員町にこれだけの住宅開発により人口が増えている、これは珍しい傾向で、この人たちを逃さないように子育て支援等の施策をしていかないといけない。

もう一つ企業誘致で言うと、ここのところ心配なのが、税収面で心配なのは神戸製鋼の話は大丈夫なのかな。地方の税収に影響があるのは2、3年後になるとは思いますが、すいません。ちょっと関係のない話をしてしまいました。

C、D判定A判定の200%のところをお話いただきました。これにこだわらず、定住自立圏

報告書の中でそれぞれのご立場でここはどうかのというところがあればご質問ください。

【委員】

福祉のことですが、これからの時代は人、もの、条件が年々変わっていくと思いますが、特に人については少子化、ものについてはハイテク時代にそれに追いついていく、条件としては温暖化ということで、変化していくということで、頭においてこれからの福祉についてはサービスの充実を強化していかなければならない。僕自身も持っているのですが、ボランティア活動、NPO法人、民間企業、市民活動センターなどの横の繋がりが重要になってくるのではないかと思います。特に社協さん方からも民生委員の中心になったらいいのではないかなと思います。

【座長】

社協としての対応という感じですか。後ほどあると思いますが、今後の検討課題で地域包括ケアシステムの推進の課題としてあがっています。いよいよ次元性のある話で迫ってきましたよね。福祉の中でも包括ケアの体制を作っていくのは近々課題だと思いますが、そこについて、金はでてくると思いますが、人、ものが足りないことになりかねない。2025年に向けてどんな状況で定住自立圏にどう繋がっていくのかご説明していただきたい。

【いなべ市福祉部次長】

今おっしゃられたその通りでして、2025年に向けて人がいないということで、問題がすぐ近くに迫っている。今年から地域で人を育てていくことということで、各自治会に福祉委員会を作ってくださいよう進めています。数字は持ち合わせていませんが、それぞれの自治会に説明しました。地域の問題ごとを福祉委員会が取り上げてもらい行政・社協が関わる必要があるものは関わりますし、地域の中で解決できるものは地域の中で解決できるよう、人を地域の中で育てていく取組をしています。

【座長】

何かありますか。東員町さんどうぞ。

【東員町福祉部長】

今後の課題として福祉団体を中心に地域座談会という形で地域を回り、地域の困りごとや相談ごとを今後どう対応していくかと相談会を開催しております。それに伴って生活支援コーディネーターというものを立てまして、地域の困りごとや相談ごとをどのように解決するか、地域の支え合い活動を県と一体となって進んでおります。徐々に進んでおり、地域カフェの話もできております。

【座長】

いかがでしょうか。その他、項目でありますか。防災や子どものことや障害のことありますか。岡本さん何かありますか。

【委員】

私のところに直接関係するのは、重度障害者と地域包括ケア、毎年対応していただき大変ありがたく思っております。一つ気になるのが13ページ。関連事業と書いてある15~19まであり、重度加算は16番です。下の実績を見ると重度加算の事業数は4件でいなべ市は2件、東員町は2件です。金額にするといなべ市は96万円に対し、東員町は168万円ということで東員町は非常にいただいているのだが、いなべ市からももう少しいただけたらと思います。

【座長】

今お答えできることはありますか。

【いなべ市福祉部次長】

いなべ市が少ないというか、重度加算についていろんな面で重度障害者の方にお金を使っており、個別にだしているわけではないので、そのあたりでご了解いただけたらと思います。

一人いくらというのがこの実績額です。人数的にいなべ市の方が多いのにはと思いますが、市としては個別にお支払するのではなく、施設や建物に力を入れておりますので、そのあたりでご理解いただけたらと思います。

【委員】

建物を建てることも大事だが、中身も充実させていく必要がある。

また、医療に関して現実ここ数年切実な問題として先生が足りないということと、重度の方がいる病院がありますが、家に帰られるところはいいですけど、うちは30名近くの方がいる。その人たちは熱があったら帰りましょーとしていたのですが、ホームでインフルエンザになって、そうすると家に帰しても家に人がいないので、ホームでみていただいたのですが、そうすると回りの方に迷惑をかけることになる。また、新しいグループホームを作った時に週末を見てもらえるところを作ったのですが、なかなか他の方たちがそこを使っていると、使いにくいところがある。いろんなところを整理すると、そこについてくる不足ということで、本当に困っている。どこが、誰が支援をしていただけるのかということところが悩みです。在宅医療を考えて、在宅医療は個別契約ですけど、ホームに入った人が大学の先生等に相談して、そうすると30数名の親たちもホームという人達が病気になった時に在宅医療の他の方にうつっていかないかということも含めて問題山盛りになっています。そういった中からボランティアさんの中から世話人になっていただく方とかの大きな支援になる人達が集まっている中で、手だてをどんな感じでしていただけるかということになります。

【座長】

ありがとうございます。人材として特に障害者福祉、介護であるとか確保していくかいなべ市単独でやるというのではなく、東員町と一緒にやっていく必要がありますし、菰野厚生病院との連携の話がありましたが、広域で確保していくのが大きな課題であると。定住自立圏としてどういったことができるのかということも考えておく必要があるのかと思います。

いかがでしょうか。次の議題もあるので、良かったら次の議題に移ります。それでは次に第2次の定住自立圏の修正についてご説明させていただきます。

【事務局】

修正の部分は2本の柱でございます。事業概要の修正、もう一つは事業費計画額の見直しの2点でございます。平成26年度に第2次ビジョンを作成し、2年を経過して3年目を迎えています。当初の計画策定時とは事業を取り巻く環境の変化や事業を実際に進める中で実際の2年間の事業費を反映させるべきという事業ができました。事業概要については、より適切な表現をもって軸等を修正させていただいた方がよいということでまとめさせていただきました。

P1の事業概要につきましてはご覧の通り事業の方向性は切り替わっていないのですが、事業の取り組みの拡充や、より適切な表現への修正をさせていただきました。

続きましてP3は事業の計画額修正です。こちらは事業の拡充、見直しがあるのですが、P3の最初を見ていただきますと、0になっているところがあるのですが、こちらは事業費がかからずして、取組をしてくださいというものになります。例えば、P3のNo.8の適正受診等の啓発事業については、実際に直接事業費を出して啓発をするのではなく、市のHPや広報誌を使って啓発をしていこうじゃないかと、そういった事業の改善を反映させていただいております。

P6の下から2つ目、こちらは東員町さんの事業になりますが、歩道の延長はですね、拡大できるようになったと。国との関係もあると思いますが、事業の拡充が計画されたものとなります。そういった形で事業計画額を計上いたしました。

【座長】

事業の概要の修正と事業費の計画額の修正の説明がありましたが、ご質問がありますか。計画額が0とありますが、これはあくまでも事業をしないというものではないと説明がありましたが、いかがでしょうか。

改めてこの課題にそって振り返りをさせていただくこととなりますが、またその時チェックしていただくこととなりますが、何かご質問ありますか。

では一応こういう共生ビジョンの修正があるということとは了としていただきます。今後の検

討課題について説明してもらえますか。

【事務局】

共生ビジョンの策定において懇談会を通じて多くの意見をいただきました。その中には長期的な視点に立って、課題を解決していかなければならない取り組みもありました。今後、事業を実施するにあたり市町間の協議の時間を要するものや制度、財政面、検討するものを今後の課題と位置づけさせていただきまして、計画書にご覧のように検討課題として位置づけさせていただきました。その状況について、上から順番に各担当部長から説明させていただきます。

【いなべ市福祉部次長】

市でやることとそれ以外でやることを分けて説明できないところではありますが、いなべ市として考えていることは、地域包括支援ケアシステムの構築、推進ということで、これは迫っております。自治会との連携、人を育てる、人に育っていただくということを進めていきたいと思っております。行政単位でやることになると思いますが、東員町さんも同じではないかと。代行サービスの推進ということで、住宅のバリアフリー化、これは介護保険の方でもしておりますし、バリアフリーをして、あくまでもできるだけ在宅で過ごしていただき、地域で見守っていくということに繋がっていくと思っております。障害者福祉サービスとして、障害者のグループホーム等について先ほどお話ありましたが、障害者の方も最終的に地域で生活していただき、施設はいらないという考えを私たちも持っております、できるだけ地域で生活できるようなグループホーム等の建築をし、いなべ市は市が建てて、民間に運営してもらっており、今後見直していき、数字的なものも必要になっていくのかと思っております。それと問題となっているそういう施設を作っても医療との連携がなければ、なかなか成功に結びつかない。これは、福祉だけではないと思っております、医療との連携を広域的に桑名圏域も含めて、イケアネットというものを計画しております。そのあたりで医療的連携を取っております。

【いなべ市健康こども部次長】

その他圏域内の福祉サービスの充実につながるもので、生涯にわたり健康でいられるよう、疾病の予防と早期発見、健康づくりの仕組みづくりであります、連携をしながらみんなで取り組んでいく、子育て支援についても個々でやっているが情報を共有しながらいいところをとって、研修と一緒にいくなど行っています。

【東員町福祉部長】

東員町は、いなべ市と同様しておりますが、東員町としてやっているところは最後の圏域の福祉サービスの充実又は健康づくりのしくみという観点で三重大と健康事業に関して研究を進めています。これは本町の健康寿命が長いということもあり、そういった観点から今後の対策を講じなければならないということで研究開発しています。障害福祉サービスにおいても当然、地域でしていこうとされています。医療機関や地域の支え合いがないと地域医療はできないと思っておりますので、考えていきたいと思っております。

【いなべ市教育部長】

続きまして、教育の方面について、地域による学校支援の充実ということでございます。地域で子どもを守り育てられるようなコミュニティスクールの充実ということですので。教育活動の支援、学校環境の整備、登下校の安全確保、地域の方にもお力をいただきまして学校経営に携わってもらってコミュニティスクール化の充実を今後の課題にあげております。

【いなべ市都市整備部長】

土地利用の関係でございますが、圏域の特性にあった土地利用の推進ということですが、団地開発、規制緩和の促進になるのですが、住宅のみならず、企業誘致を進めるにあたり様々な規制があります。どのようなことが可能か今後検討し、スムーズに進めていかなければならない。

都市計画法 34 条 11 号の話も考えながら、検討していききたいと思っております。

【いなべ市農林商工部次長】

農業耕作者の高齢化に伴う後継者の確保と農地耕作者の高齢化に伴う耕作放棄地の有効活用

というところでございますが、日本の農業の利益が上がらない農業について、次世代もないということになります。また、耕作放棄地は、利益という問題が一番。農地の経費があいまいなところで、内容とするのが、食糧の確保か、趣味なのかということの定義付けもしなければ、利益に繋げていくのは難しい。今後の課題として農業というものがどのように進むか難しい問題です。

【いなべ市総務部長】

地域防災力の充実・強化で消防団と福祉団体との連携による高齢者が関係する火災の防止でございますが、いなべ市消防団は地域密着をした活動をしておりませんが、その中で福祉団体と連携は取り組みできていない。過去にある地区で消火器の詰め替えや火災報知器の取りまとめの時は、高齢者で付けられない方には消防団がつけたこともあると聞いています。この活動で想定されるのは消防団と社協、民生委員が連携しながら、高齢者の火災予防が必要となってきます。今後こういったことを検討していく必要があります。

【東員町総務部長】

東員町はこの辺実施しており、特に女性消防団を中心に福祉団体、民生委員に協力いただいて地域に入らせてもらっています。ひとり暮らしの高齢者の方に火災関係の消火器の使い方や警報器の設置について見守りをしています。件数は少ないですが今後増やしていく方針であります。

【いなべ市都市整備部長】

地域公共交通で福祉バスとコミュニティバスの相互乗入の検討ですが、地域公共交通はバスだけではございません。北勢線2市1町で支援させていただいております。それで、バスの総合乗り入れに北勢線も加えた格好での対策が大切だと思います。共倒れにならないようにしていく必要があります。

【委員】

地域内外との移住促進として、移住については老朽化した家屋がありますが、有効に活用していくにはどうすればよいか。また、施設総合管理計画は公共施設も含めて入ってくると思います。そこをいかに地域との交流等に繋がるよう検討すすめていかなければならないかなと思います。

【座長】

今ご質問いただいた共生ビジョンの中で今後の検討課題だとでてきた項目を具体的に分科会等でどういう風にご審議いただいているのかということについても報告いたしました。中には例えば防災でいえば東員町はこういうやり方いなべ市はこういうやり方をしていると、だったら互いのいいところ取りをすれば、もう一歩中身が進むのではないかなと思います。公共交通の話は、市バス、コミュニティバスの相互乗り入れの検討はかなり厳しいものがありエリアでの公共交通のあり方みたいなもので議論していくとの報告でしたが、今後の検討課題でなにかご質問ありますか。

【委員】

具体的どのような検討をしていくのでしょうか。

【座長】

障がい児が地域で暮らせる仕組みという観点を含めてお願いします。

【いなべ市福祉部次長】

障がい者施設の新築等に対する財政支援、これはあくまでも法人さんが建てていただく場合の新築への支援と理解していただければと思います。障がい児の地域で暮らせる地域づくりは、実際に運営していただく法人さんがいないといけないのですが、グループホームも今年4月に7件のグループホームを行政が建てて法人さんに運営してもらっています。あと、20部屋弱のグ

ループホームが必要だと考えており、それを作ろうと計画しています。そして、医療との連携としては桑員地域のイーケアネット桑員を基本にして、医的ケアの必要な障がい者に対応し、また、小学校から高校の学生の間の障がい者が療育的機能を補完する方法であるとか、医療法人と連携していく必要があると考えています。

【座長】

検討する項目が多いですが、いかがでしょうか。

【委員】

土地利用に関して、規制緩和の促進について進めて行っていただきたいのですが、主に東員町で言いますと、東員駅、穴太駅あその駅前が田んぼ、畑になっている。町長はスマートシティーと言っていますが、そのネックになっているのが、農地の転用ができない。建物が建てられないと聞いていますが、駅前をどう利用するか。大きなこと言えば、高層マンションを建てて、横には高齢者用マンションを建てれば、北勢線の利用数も増えるし、移住の促進にもつながるのでは。いなべ市は大きな工場がありますので、そこに住むのではないか。ぜひともそういったことを進めていただきたいと思います。

【東員町総務部長】

ご指摘されたとおりですが、その中で、例えば一番規制になっているのが、農地法の問題であります。これについてもしっかり県と国とで協議を重ねております。と言いますが、あれをやらないと今後東員町はしっかりやっついていかないとまったく無理だと、みな腹くくっていますのでこれからしっかりやっついてきたいと思います。

【委員】

このビジョン全体の子育てに関するところがすごく少ないのと、意見を述べる以前の問題です。子どもが生まれてから成人するまでにいろんなことがあると思いますが、それに関わる項目が少ない。障がいを持っている子を持つ家庭もあるのですが、その家庭を応援する項目もないので、意見の出どころがない。

【座長】

この共生ビジョンを作成した際、全部を網羅することはできなくて、第1～2次の目玉がいなべ総合病院をどうするか、緊急の医療体制どうするか、障がい児の福祉をどうするかと焦点を絞ってきた部分がある。荒木さんに加わっていただいて、今後もう少し子育てについて東員といなべが協力してどうやっていくか検討課題として検討する必要があり、改定する際に追加する形で加える必要がある。そのように対応していきたいと思います。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか

【委員】

今後の検討課題で福祉での地域包括ケアシステムや介護サービスの充実とあるのですが、介護予防の強化というところが必要かと思うのですが。

【座長】

介護予防というものをどう進めていくか、確かにですね。

いかがでしょうか。本来はここから意見交換会をしていくべきなのですが、時間が足りなくなってきた、この際、ご発言ある方は。

【委員】

共生ビジョンのP38の下から5つ目の枠ですね、国道421号からいなべ地区防災拠点（旧員弁高校）と防災拠点（旧員弁高校）としていますが、行政側としてはどういう風に考えていますか。例えば防災倉庫を建てるとかお考えですか。

【いなべ市総務部長】

旧員弁高校を取得させていただきましたのは、仮設住宅を建てるために用地購入させていただきました。現在、そこに防災倉庫を建てる等は考えておらず、有事の際の仮設住宅の建設を考えております。

【委員】

もう一ついいですか。最初の方で医師不足の話が出ましたが、これは全国的な傾向だと思いません。勤務医の仕事はハードだと思うのですが、当然、宿直、残業があるので。いなべ総合病院はもちろん勤務医ですが、名古屋の方から通っているお医者さんが多いと思います。そういう面で通勤にも夜勤あけで帰られるのが実態だと思うのですが、いなべ総合病院に長くいていただきたいので、そういった方がいなべに住んでいただけるよう知恵を絞って環境を整えていく必要があるのではないかと。

【いなべ市健康こども部次長】

お医者さんが名古屋の先生が多いと思うのですが、以前から寮ではないけれど、一件の家を借りていただいて、そこに住んでということがあります。そこで使う光熱費の一部を負担しています。また、通ってもらっているお医者さんも泊まれるようにしている。お子さんが見える先生も見えますが、その辺については認可外保育所がついている。その辺で補助している。

【座長】

最初と最後で医師不足の話が出ましたが、みなさんの安心安全の要になりますので、大きな課題となり、この定住自立圏の最優先の課題になると今日よくわかりました。即効性のある案はなかなかでてこないですが、ぜひいなべ市・東員町協力して何らかの形で前に向かって進めるようにしていきたいです。

【事務局】

ありがとうございました。その他の連絡事項でございますが、委員の皆様には本日の委員会の会議録と先ほど修正を含めた改訂版の第2次共生ビジョンをご郵送させていただきます。ありがとうございました。これからもみなさまからいただきました貴重なご意見を基に第2次共生ビジョンを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして懇談会閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

そ の 他 事 項